

感染症定期報告の報告状況(2009/3/1~2009/8/31)

資料No. 4-2

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
1	2009/3/6	80944	東菱薬品工業	幼牛血液抽出物	幼牛血液抽出物	幼牛血液抽出物	オーストラリア、ニュージーランド	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	米国アラバマのBSE確定ウシでウシプリオン蛋白遺伝子(Prnp)におけるE211Kと呼ばれる新規の遺伝子変異を同定した。この変異は遺伝性CJDのヒトにおいて見られるE200K病因性変異と同一であり、ウシPrnp遺伝子内で潜在的病原性変異を有するBSE確定ウシの最初の報告である。最近の疫学的試験によるとK211アレルは6062頭のウシで全く検出されず、E211K変異は極めて頻度が低い(2000例中1例未満)。
2	2009/3/6	80945	東菱薬品工業	ヘモコアグララーゼ	ヘモコアグララーゼ	毒蛇	ブラジル	有効成分	無	無	無			
3	2009/3/9	80946	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	カザミノアシド	ウシの乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
4	2009/3/9	80947	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥痘そうワクチン 沈降精製百日せきワクチン コレラワクチン ジフテリアキソイド ワイル病秋やみ混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素	ポリペプトン	ウシの乳	ニュージーランド、中国	製造工程	無	無	無			
5	2009/3/9	80948	武田薬品工業	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ラクトアルブミン水解物	ウシの乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
6	2009/3/9	80949	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ心臓透析外液	ウシ心臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
7	2009/3/9	80950	武田薬品工業	インフルエンザHAワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
8	2009/3/9	80951	武田薬品工業	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ニワトリ胚細胞	ニワトリ胚	日本	製造工程	無	無	無			
9	2009/3/9	80952	武田薬品工業	乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ペブシン	ブタ腎	アメリカ合衆国	製造工程	無	無	無			
10	2009/3/9	80953	武田薬品工業	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	トリブシン	ブタ隣臓	アメリカ合衆国、カナダ	製造工程	無	無	無			
11	2009/3/9	80954	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	バグトカジン	ウシの乳		製造工程	無	無	無			
12	2009/3/9	80955	武田薬品工業	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ウシ血清	ウシ血液	アメリカ合衆国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
13	2009/3/9	80956	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	スギムミルク	ウシの乳	アメリカ合衆国、日本	製造工程	無	無	無			
14	2009/3/9	80957	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
15	2009/3/9	80958	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素	ウマ血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
16	2009/3/9	80959	武田薬品工業	痘そうワクチン 乾燥痘そうワクチン	ウシ皮膚	ウシ皮膚	日本	製造工程	無	無	無			
17	2009/3/9	80960	武田薬品工業	ウイルス病秋やみ混合ワクチン	ウサギ血清	ウサギ血液	日本	製造工程	無	無	無			
18	2009/3/9	80961	日立化成工業	乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウマ免疫グロブリン	ウマ血清	日本	製造工程	無	無	無			
19	2009/3/9	80962	日立化成工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド コレラワクチン ジフテリアキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ肉水	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
20	2009/3/9	80963	中外製薬	ペバシズマブ(遺伝子組換え)	ペブジン	ブタ胃組織	米国	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	FDA/CDER Meeting of the Antiviral Drugs Advisory Committee 2008年12月2日	FDAの抗ウイルス諮問委員会はSolvay社のCreon(Pancrelipase徐放剤、NDA20-725)およびその他の膵酵素製品(PEPs)がブタ由来であることから、ブタウイルスによるヒトへの感染リスクについて検討した。今までにヒトにおける感染が発生したとのエビデンスはないが、全てのブタ由来PEPは動物のウイルスを含有し、ヒトにおける感染のリスクをもたらす可能性があるというラベルに記載すべきであると警告した。
												ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	ブタにおけるEbola-Restonウイルスの初めての検出: フィリピンにおいてブタからEbola-Restonウイルスが検出されたことを受けて、フィリピン政府がFAO、OIEおよびWHOに専門家の派遣を要請した。2007年および2008年にNueva EcijaおよびBulacanの農場においてブタの死亡が増加したことからフィリピン政府による調査が開始され、ブタ繁殖・呼吸器障害症候群(RRRS)およびEbola-Restonウイルス感染が確認された。フィリピンのサルにおいては感染が確認されている。
21	2009/3/9	80964	中外製薬	ペバシズマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明	製造工程	無	無	無			
22	2009/3/10	80965	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド	ウシの肝臓	ウシの肝臓	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
23	2009/3/10	80966	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド	ビーフハートインフュージョン	ウシの心臓	インド、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
24	2009/3/10	80967	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド 沈降破傷風トキソイド	ウシ肉エキス	ウシの肉、骨、脂肪	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
25	2009/3/10	80968	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド コレラワクチン 沈降破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシの乳	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
26	2009/3/10	80969	阪大微生物病研究会	百日せきワクチン 破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド コレラワクチン	ポリペプトン	ウシの乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
27	2009/3/10	80970	阪大微生物病研究会	インフルエンザワクチン インフルエンザHAワクチン 沈降新型インフルエンザワクチン(H5N1)	尿膜腔液	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
28	2009/3/10	80971	阪大微生物病研究会	発疹チラスワクチン	卵黄囊	発育鶏卵	該当なし(製造中止品目)	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
29	2009/3/10	80972	日本ビーシー製造	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	J Virol Methods Vol.149, No.1,180-183 2008	自然水レザパー中の超低濃度インフルエンザウイルスを検出する簡便法を開発した。ニワトリの全血から分離した赤血球細胞を用い、細胞表面のシアリルリセプターに対するウイルス結合と凝集による濃縮を行い、鶏卵胚で培養後ウイルスを検出した。検出感度と確率をPCR法と比較した。
												鳥インフルエンザ	Emerging Infectious Diseases Vol.14, No.8, 1303-1305, 2008	2006年2月から8月にHN51型インフルエンザウイルスのアウトブレイクが起こったカンボジアの3つの村で土壌表面のスワブ、貯水池の水中植物、死亡した家禽等の環境調査を実施した。14世帯領域から採集した77サンプル中27サンプル(35%)がrRT-PCRによりH5N1陽性であることが確認され、家禽飼育場所の定期的な消毒の必要性が示唆された。
												鳥インフルエンザ	Avian Diseases, Vol.52, No.1, p40-44, 2008	ニワトリに実験的にH5N1インフルエンザを感染させ、気管と種々の組織におけるウイルスの局在について解析した。と畜前の気管スワブの抗原検出試験は発症または死亡した感染ニワトリを同定するには役立ったが、発症前の検出感度は低かった。
30	2009/3/10	80973	日本ビーシー製造	精製ツベルクリン	乳糖	ウシの乳	オランダ、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ	添加物	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J Infect Dis 2008; 198: 81-89	未接種のシリアンハムスター(Shas)を、Sc237プリオンに経口的に感染させたShasと共に飼育するかまたはその排泄物に曝露させた。曝露した動物でのプリオン感染率は80-100%で、潜伏期間は140日以下であり、糞、おそらく糞食を介した伝播が示唆された。Shaプリオンを過剰発現するトランスジェニックマウスに脳内接種したところ、潜伏期間の無症候期を通して低レベルの感染性プリオンの排泄が続いていた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Virology Vol.379 No.2 284-293, 2008	プロテアーゼ抵抗性プリオンタンパク(P ^{Sc} PrP ^{res})の細胞内取り込みについて、ユニークな抗体エピトープを標識結合することにより、取り込まれたPrP ^{res} と細胞内在性のPrP ^{res} やプロテアーゼ感受性PrP(PrP ^{sen})とを区別することが可能になった。PrP ^{res} の取り込みはスクレーパーの種類や細胞種によらず速やかであり、一部の細胞だけに見られ、PrP ^{res} の調整法と凝集サイズに依存することが明らかになった。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, Vol.14, No.12,1898- 1901,2008	典型的BSEプリオンと非典型的プリオン(H型・L型)の脳への伝播をMet129ヒトPrPトランスジェニックマウスを用いて比較した。典型的BSEプリオンとは異なり、L型非典型的プリオンは伝播のバリアーを示さず蓄積された。H型では伝播・感染しなかった。L型プリオンに関連する人獣共通感染症のリスクはMet129PrP対立遺伝子対をもつヒトにおいては、典型的なBSEよりもリスクが高い可能性が示唆された。
31	2009/3/12	80974	シオノケミカル	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	イタリア	有効成分	無	無	無			
32	2009/3/16	80975	化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	血清	ウサギ血液	—	製造工程	無	無	無			
33	2009/3/16	80976	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	オーストラリア、 ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
34	2009/3/16	80977	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド コレラワクチン 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 破傷風トキソイド	スギムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
35	2009/3/16	80978	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ワイル病治療血清 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	ポリペプチン	ウシ乳	中国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
36	2009/3/16	80979	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ガスえそウマ抗毒素 ガスえそウマ抗毒素 乾燥ボツリヌスウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
37	2009/3/16	80980	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド コレラワクチン 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥ガスえそウマ抗毒素 ガスえそウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	肉	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
38	2009/3/16	80981	化学及血清療法研究所	コレラワクチン	ハートイン フュージョン アガー	ウシ乳・心臓	—	製造工程	無	無	無			
39	2009/3/16	80982	化学及血清療法研究所	コレラワクチン	ハートイン フュージョン ブイオン	ウシ乳・心臓	—	製造工程	無	無	無			
40	2009/3/16	80983	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
41	2009/3/16	80984	化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむしウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無	無	無			
42	2009/3/16	80985	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド ワイル病治療血清 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
43	2009/3/16	80986	化学及血清療法研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	発育鶏卵	ニワトリ発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
44	2009/3/16	80987	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素 乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥ボツリヌスウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ペブシン	ブタ胃	米国	製造工程	無	無	無			
45	2009/3/16	80988	化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	肝臓	モルモット肝臓	—	製造工程	無	無	無			
46	2009/3/16	80989	化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	血液	モルモット血液	—	製造工程	無	無	無			
47	2009/3/16	80990	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	ハートエキス	クジラ心臓	海洋生物由来の原材料	製造工程	無	無	無			
48	2009/3/16	80991	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶ毒	ハブ毒素	日本	原材料	無	無	無			
49	2009/3/16	80992	化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむし毒	マムシ毒素	日本	原材料	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
50	2009/3/16	80993	化学及血清療法研究所	乾燥日本脳炎ワクチン 乾燥弱毒生麻疹ワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	乳糖水和物	ウシ乳	ニュージーランド	添加物製造工程	無	無	無			
51	2009/3/16	80994	化学及血清療法研究所	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	脳	マウス脳	日本	製造工程	無	無	無			
52	2009/3/26	80995	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無	リケッチア症	ProMED-mail20080728.2306	オランダ・フラバント州の公衆衛生局が行った調査でQ熱の症例報告数が急激に増加し、2008年7月21日付けで491症例が報告されている。感染症管理センター長によると、実際の感染者数は報告された症例数の10倍であると思われる。2007年まではQ熱はオランダではほとんど存在しなかった。
												ウイルス性脳炎	ProMED-mail20080828.2697	インド東部のウッタールプラデシュ州で小児を死亡させている原因不明のウイルスは、インド保健省の専門家らにより急性脳炎症候群と診断された。同州の13の地区では、数週間におよそ800人の患者が発生し150人が死亡したと報告され、その数は増加すると見られている。血液検査で日本脳炎陽性となった患者は5%以下であった。日本脳炎とエンテロウイルスとの混合感染の可能性について調査中である。
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	インフルエンザ様疾患の小児の呼吸分泌物中から、汎ウイルスマイクロアレイ法を用いて、初めてヒトカルディオウイルスを同定した。系統遺伝学的分析から、このウイルスはTheilerのネズミ脳脊髄炎ウイルス亜型に属し、Saffoldウイルスと最も近縁であった。また、胃腸疾患患者群498名から得た751例の糞便検体中6検体からカルディオウイルスが検出された。
												ウイルス感染	ProMED-mail20081028.3409	2008年10月初旬に南アフリカでアレナウイルスによる感染のアウトブレイクが同定された。9月12日から10月24日までに計5例が報告され、5例中4例が死亡し、1例は入院中である。死亡した4例では発病から死亡まで9～12日間であった。塩基配列分析より、ユニークな旧世界アレナウイルスが原因であることが明らかとなった。現在のところ新たな疑い症例はない。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	GDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	米国ミネソタ州の68歳男性が、2007年10月12～21日に手術後の輸血を受け、敗血症および多臓器不全をきたした後、10月31日に発熱を伴う急性血小板減少症を発現し、11月3～5日の血液検体からPCR及び抗体検査でアナプラズマ症感染が確認された。血液ドナーの1人にA. phagocytophilum陽性がPCR及びIFA検査で確認され、血液ドナーに感染源が確認された初の事例となった。
53	2009/3/16	80996	フェリン グ・ ファーマ	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	—	米国、カナダ	有効成分	無	無	無			
54	2009/3/16	80997	フェリン グ・ ファーマ	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
55	2009/3/16	80998	フェリン グ・ ファーマ	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	インスリン	ウシ膵臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
56	2009/3/16	80999	フェリン グ・ ファーマ	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
57	2009/3/16	81000	フェリン グ・ ファーマ	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
58	2009/3/16	81001	フェリン グ・ ファーマ	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシホブロテイン	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
59	2009/3/16	81002	フェリン グ・ ファーマ	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアポトランスフェリン	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
60	2009/3/16	81003	フェリン グ・ ファーマ	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	マウス骨髄腫由来細胞	マウス骨髄腫	—	製造工程	無	無	無			
61	2009/3/17	81004	日本メジ フィジック ス	放射性医薬品基準テクネチウム大凝集人血清アルブミン(99mTc)注射液	テクネチウム大凝集人血清アルブミン(99mTc)	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
62	2009/3/18	81005	持田製薬	日本薬局方 注射用ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	百局 ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	ヒツジを用いた感染実験において、BSEは36%、スクレイパーは43%と予想以上に高い輸血伝播率を示した。高い伝播率および臨床的に陽性のレシピエントにおける比較的短期間の一定した潜伏期間は、血中の感染性力価が高いことおよびTSEが輸血により効率的に伝播することを示唆する。血液製剤によるヒトでのvCJD伝播を研究するために、ヒツジが有用なモデルであることが示された。
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995]と同じ
												感染	日本医真菌学会雑誌 2008; 49: 92 第52回 日本医真菌学会総会 2008年9月10-11日	健常者(63歳男性)の爪真菌症から Arthrographis kalrae を分離・同定した。土壌や堆肥との接触を介しての感染が疑われた。イトラコゾールの内服とミコナゾールの外用で治療を開始したが、心臓頻拍出現のため、外用と削爪のみで経過をみたところ、約6ヶ月で略治した。日本での分離は本症例が初めてである。
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	南アフリカとザンビア出身者の最近の死亡例3例はアレナウイルス科のウイルスが原因あることが、NICDおよびCDCで行われた検査の結果明らかとなった。詳細な分析が継続されている。一方、南アフリカでは患者と密接に接触した看護師が感染し、入院中である。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FEBS Letters 2008; 582: 3161-3166	実験的にプリオンを感染させ、有病期にあるハムスターの約80%の尿中に異常プリオン(PrP ^{Sc})が検出された。対照群での偽陽性は観察されなかった。また尿中PrP ^{Sc} 値は血中の約10分の1と推定された。尿中PrP ^{Sc} は感染性を維持しており、尿はプリオン伝播の原因となりうることを示唆された。
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	2007年11月22日、急性呼吸器症状を呈した東南アジアからの帰国者(38歳男性)が高病原性鳥インフルエンザの要観察例と判断され、インフルエンザH5N1の検査が依頼された。検査の結果、インフルエンザH5N1の感染は否定され、オルソレオウイルスが分離された。これまで本ウイルスに日本人が感染した報告はなく、国内への侵入も初めてと考えられた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263-2270	中国安徽省でヒト顆粒球性アナプラズマ症(HGA)と症状が一致する患者は、2006年10月30日に発症し、11月5日に死亡した。確定診断はされなかったが、発症する12日前にダニに刺されていた。11月9-11日に、この患者の血液および呼吸器分泌物との直接接触によると疑われる症例9例が報告され、HGAと確定診断された。中国におけるHGA症例の初めての報告である。
												エボラ出血	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000212	2007年11月、出血熱の複数症例がウガンダ西部のブンディブギョ地方で報告され、新たに発見されたエボラウイルス種(ブンディブギョエボラウイルス)によるエボラ出血熱であることが確認された。
												ハンセン病、らい腫型	Eurek Alert(November 24, 2008) November 24, 2008	901001に同じ
												細菌感染	日本感染症学会西日本地方会学術集会 第78回 2008年12月5-6日 063	本邦で初のEnterococcus hirae感染例の臨床報告。化膿性胆管炎疑い患者の血液培養より分離。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	263Kスクレイピーの臨床症状を呈するハムスター22匹の尿にTSE感染性があることが示された。これらの動物の腎臓と膀胱のホモジネートは20000倍以上希釈してもTSE感染性があった。組織学的、免疫組織化学的分析では、腎臓における疾患関連PrPの散発的な沈着以外、炎症や病変は見られなかった。尿中のTSE感染性が、自然のTSEの水平感染に何らかの役割を果たす可能性がある。
63	2009/3/18	81006	持田製薬	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン(hMG)	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	810051に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												感染	日本医真菌学会雑誌 2008; 49: 92 第52回 日本医真菌学会総会 2008年9月10-11日	81005に同じ
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FEBS Letters 2008; 582: 3161-3166	81005に同じ
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												エボラ出血	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000212	81005に同じ
												ハンセン病、らい腫型	Eurek Alert(November 24, 2008) November 24, 2008	90100に同じ
												細菌感染	日本感染症学会西日本地方会学術集会 第78回 2008年12月5-6日 063	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	81005に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
64	2009/3/18	81007	持田製薬	日本薬局方ヘパリンナトリウム注射液	百局ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜		有効成分	有	無	無	エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	90299に同じ
65	2009/3/18	81008	持田製薬	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ
66	2009/3/18	81009	持田製薬	トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ
67	2009/3/18	81010	持田製薬	インターフェロン ベータ	インターフェロン ベータ	ヒト線維芽細胞	日本	有効成分	無	無	無			
68	2009/3/19	81011	ファイザー	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタの腸	中国	有効成分	無	無	無			
69	2009/3/19	81012	ベネシス	人血清アルブミン 乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ 人ハプトグロブリン 乾燥濃縮人血液凝固第八因子	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	中国	製造工程	有	無	無	エボラ出血	OIE (December 23, 2009)	フィリピンマニラの農場で2008年10月にブタで始めてエボラレストンウイルスが確認され、2009年1月には当該農場の労働者少なくとも1名で抗体陽性を示した。同ウイルスのブタからヒトへの感染を示す初の報告。
70	2009/3/19	81013	ベネシス	人血清アルブミン 乾燥濃縮人血液凝固第八因子 乾燥濃縮人血液凝固第八因子	人血清アルブミン	人血液	日本	有効成分 添加物	有	無	無	デング熱	Transfusion 2008; 48: 1342-1347	高力価の培養デングウイルス セロタイプ2をアルブミンおよび免疫グロブリンの各種製造工程(低温エタノール分画、陽イオン交換クロマトグラフィー、低温殺菌、S/D処理およびウイルスろ過)前の検体に加え、各工程での同ウイルスのクリアランスをVero E6細胞培養におけるTCID50アッセイおよびRT-PCRで測定した。その結果、全ての工程が不活化・除去に有効であることが示された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												デング熱	Transfusion 2008; 48: 1348-1354	2005年9月20日～12月4日のプエルトリコの米 国赤十字におけるすべての供血16521検体中 のデングウイルス(DENV) RNAを TMA(transcription-mediated amplification)法で 測定したところ、12検体(0.07%)がTMA陽性で あった。4検体は、RT-PCR(DENVセロタイプ2 および3)陽性であった。RT-PCR陽性4検体中 3検体でウイルスを培養することができた。TMA 陽性12検体中1検体がIgM陽性であった。1:16 に希釈した場合は5検体のみTMA陽性であった
												チクングニヤウ イルス感染	Transfusion 2008; 48: 1333-1341	2005年から2007年に、チクングニヤウウイルス (CHIKV)はレユニオン島で大流行し、供血は 2006年1月に中断された。大流行中のウイルス 血症血供血の平均リスクは、10万供血あたり 132と推定された。2006年2月の最流行時にお けるリスクは、10万供血あたり1500と最高で あった。この期間中、757000人の住民のうち推 定312500人が感染した。2006年1月から5月の 平均推定リスク(0.7%)は、CHIKV NAT検査によ る血小板供血のリスク(0.4%)と同じオーダーで あった。
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95(Suppl.1): 282-283	2005年の中国の4都市(Beijing、Urmuchi、 KunmingおよびGuangzhou)における供血検体 のHEV感染率を調べた。その結果、ルーチン検 査(抗HCV、抗HIV1/2、HBsAg、梅毒および ALT)陰性供血者の約1%は抗HEV IgMまたは HEV Ag陽性で、HEV感染の可能性があった。 また、ALTスクリーニングは中国のHEV感染血 排除に役立つ可能性があった。
												狂犬病	ProMED- mail2008082 6.2660	1990年から2007年の中国における狂犬病発生 傾向を調べた研究によると、最近8年間でヒト狂 犬病症例数が急激に増加したことが明らかと なった。ヒト狂犬病は1990年から1996年の間は 全国的な狂犬病ワクチン接種プログラムにより 抑制され、わずか159症例が報告されただけで あるが、2006年は3279症例と激増した。
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	81005に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	Blood誌のprepublished onlineに掲載されたヒツジにおける研究によると、輸血によるBSE伝播のリスクは驚くほど高い。エジンバラ大学で行われた9年間の研究は、BSEまたはスクレイピーに感染したヒツジからの輸血による疾病伝播率を比較した。その結果、BSEおよびスクレイピーとも輸血によりヒツジに効率よく伝播された。症状を呈する前のドナーから採取された血液によっても伝播することが示された。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2008; 134: 757-768	マウスPrP ^{Sc} と混合させることによって折り畳み異常が起こったハムスターPrP ^C は、野生型ハムスターに対して感染性を起こす新規なプリオンを生成した。同様の結果は、反対方向でも得られた。PMCA増幅を繰り返すとin vitro産生プリオンの順応が起こる。このプロセスは、in vivoでの連続継代に観察される株の安定化を暗示させる。種の壁と株の生成がPrP折り畳み異常の伝播によって決定されることが示唆される。
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	非定型BSE(BASE)に感染した無症候のイタリアの乳牛の脳ホモジネートをカニクイザルに脳内接種した。BASE接種サルは生存期間が短く、古典的BSEまたはvCJD接種サルとは異なる臨床的展開、組織変化、PrPresパターンを示した。感染牛と同じ国の孤発性CJD患者でPrPが異常なウエスタンプロットを示す4例のうち3例のPrPresに同じ生化学的特徴を認めた。BASEの霊長類における高い病原性および見かけ上孤発性CJDである症例との関連の可能性が示唆された。
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
71	2009/3/19	81014	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	人血液	日本	有効成分	有	無	無	デング熱	Transfusion 2008; 48: 1342-1347	81013に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												デング熱	Transfusion 2008; 48: 1348-1354	81013に同じ
												チクングニヤウイルス感染	Transfusion 2008; 48: 1333-1341	81013に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95(Suppl.1): 222-223	81013に同じ
												狂犬病	ProMED- mail2008082 6.2660	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28 日	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2008; 134: 757-768	810113に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124- 14129	80995に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
72	2009/3/19	81015	ベネシス	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	人血液	①日本、②米国、日本	有効成分	有	無	無	デング熱	Transfusion 2008; 48: 1342-1347	81013に同じ
												デング熱	Transfusion 2008; 48: 1348-1354	81013に同じ
												デング熱	Transfusion 2008; 48: 1333-1341	81013に同じ
												デング熱	Transfusion 2008; 48: 1333-1341	81013に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95(Suppl.1): 282-283	81013に同じ
												狂犬病	ProMED-mail20080826.2660	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2008; 134: 757-768	810113に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	810051に同じ
73	2009/3/19	81016	第一三共	精製下垂体性腺刺激ホルモン	精製下垂体性腺刺激ホルモン	人尿	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO/EPR 2009年1月7日	中国衛生部は、中国において新たに鳥インフルエンザ感染例1例(2008年12月24日発症、2009年1月5日死亡)を報告した。
												鳥インフルエンザ	WHO/EPR 2009年1月22日	WHOに報告された鳥インフルエンザ(H5N1)ヒト確定症例数。2003~2009年の症例数及び死亡数。2008年はバングラデッシュで症例1例、カンボジアで症例1例、中国で症例4例(死亡4例)、エジプトで症例8例(死亡4例)、インドネシアで症例24例(死亡20例)、ベトナムで症例6例(死亡5例)。
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20090121-0263	中国における鳥インフルエンザ感染情報。2009年1月の感染例は、Hunan省の16歳男性(1月20日死亡)、Shandong省の27歳女性(1月17日死亡)、Beijing省の19歳女性(1月5日死亡)。
												細菌感染	ProMED-mail20081229-4095	901371に同じ
												レンサ球菌感染	ProMEDmail20081231-4135	香港のTai Po Hospitalの男性精神科病棟で患者15例がStreptococcus pyogenes(A群β溶血性連鎖球菌)検査に陽性であった。
												結核	ProMED-mail20090114-0151	中国における結核菌の薬剤耐性率は世界平均の約2倍であった。多くの患者が副作用やコンプライアンスの悪さによって治療を中断していることが問題である。
												マラリア	ProMED-mail20090114-0156	中国において、2008年5月から2009年1月10日の間にアンゴラから帰国した労働者において14例のマラリア症例が確認された。
												狂犬病	ProMED-mail20090114-0157	Shandong省Yantai市で狂犬病患者が増加しているとの報告。
74	2009/3/19	81017	第一三共	精製下垂体性腺刺激ホルモン	乳糖	ウシ	英国及びポルトガルを除く	添加物	有	無	無	BSE	ProMED-mail20081119-3648	2008年11月17日、カナダにおいて新たにBSE感染牛が1例確認された。これはカナダにおける15例目である。British Columbiaの農場。
												結核	ProMED-mail20081205-3826	米国インディアナ州南東部の牛の群においてウシ結核が1例確認され調査中である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												結核	ProMED-mail20081207-3839	米国ミネソタ州のBeltrami Countyにおいて、ウシ結核が3頭で確認された。
												結核	ProMED-mail20081208-3856	90232に同じ
75	2009/3/19	81018	第一三共	精製下垂体性性腺刺激ホルモン	抗FSHマウスモノクローナル抗体	マウス	イタリア	製造工程	無	無	無			
76	2009/3/23	81019	フジモト・ダイアグノスティックス	—	ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液	日本白色種家兎皮膚抽出液	中国	有効成分	無	無	無			
77	2009/3/23	81020	味の素	バルナバリンナトリウム	バルナバリンナトリウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	OIE (December 23, 2009)	81012に同じ
												エボラ出血熱	promedmail(January 23, 2009)	フィリピンマニラの農場で2008年10月にブタで始めてエボラレストンウイルスが確認され、2009年1月には当該農場の労働者少なくとも1名で抗体陽性を示した。同ウイルスのブタからヒトへの感染を示す初の報告。
												エボラ出血熱	WHO EPR Disease Outbreak News(February 3, 2009)	フィリピンマニラの農場で2008年10月にブタで始めてエボラレストンウイルスが確認された後、2009年1月には当該農場の労働者少なくとも1名で抗体陽性を示し、今回さらに4例の抗体陽性例を認めた。
78	2009/3/24	81021	北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国	製造工程	無	無	無			
79	2009/3/24	81022	北里研究所	コレラワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
80	2009/3/24	81023	北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
81	2009/3/24	81024	北里研究所	コレラワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
82	2009/3/24	81025	北里研究所	コレラワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ペプトン	ウシ乳	中国、ポーランド、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
83	2009/3/24	81026	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ラクトアルブミン水解物	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド、米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
84	2009/3/24	81027	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	ウシ乳	ニュージーランド、カナダ、米国、オランダ、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ	製造工程	無	無	無			
85	2009/3/24	81028	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
86	2009/3/24	81029	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	乳糖水和物	ウシ乳	ニュージーランド、米国	添加物	無	無	無			
87	2009/3/24	81030	北里研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン 沈降新型インフルエンザワクチン(H5N1株)	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
88	2009/3/24	81031	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	日本、米国	製造工程	無	無	無			
89	2009/3/24	81032	北里研究所	日本脳炎ワクチン	マウス脳乳液	マウス脳	日本	製造工程	無	無	無			
90	2009/3/24	81033	北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
91	2009/3/24	81034	北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド	ウマ脱繊維素血液	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
92	2009/3/24	81035	北里研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン	ウサギ腎初代培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
93	2009/3/25	81036	伊藤ライフサイエンス	バルナバリンナトリウム	バルナバリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
94	2009/3/25	81037	メルクセローノ	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸	中国	有効成分	無	無	無			
95	2009/3/26	81038	日本製薬	乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	人血液	日本	有効成分	有	無	無	B型肝炎	J Hepatol 2008; 48: 1022-1025	スロヴェニアで、HBs抗原陰性で抗HBc抗体陽性、抗HBs抗体低力価陽性、HBV DNA陽性の濃厚赤血球と新鮮凍結血漿を輸血された59歳の患者が4ヶ月後に急性B型肝炎を発症した。また同じ供血血液由来のRCCの輸血を受けた71歳の患者も7ヶ月後にHBV感染を認めた。2例ともドナーと同じ配列を有するジェノタイプDが感染していた。潜在性B型肝炎ウイルス感染者の血液は抗HBs抗体が陽性にかかわらず、感染性を有した。
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1368-1375	2004年9月20日に39歳日本人男性から献血された血液はALT高値のため不相当とされ、HEV陽性であった。当該ドナーの遡及調査の結果、9月6日にも献血を行い、HEV RNAを含有する血小板が輸血されていた。当該ドナーと親戚は8月14日にブタの焼肉を食べており、父親は9月14日に急性肝炎を発症し、E型劇症肝炎で死亡した。他に7名がHEV陽性であった。レシピエントは輸血22日目にALTが上昇し、HEVが検出された。
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	供血時には血清検査陰性であったが、その後HBV DNAが検出された供血者由来の血液成分を輸血された2名の免疫不全患者について調べた。受血者1はHBVワクチン接種を受け、抗HBsキャリアであったが、赤血球輸血後13か月で急性B型肝炎を発症するまで他のHBVマーカーは全て陰性であった。供血者とHBVシークエンスが一致したため、輸血関連感染と確認された。受血者2は血小板輸血を受けたが、感染していなかった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	血漿交換、コルチコステロイドおよびコリンエステラーゼ阻害剤による治療を受けていた重症筋無力症患者が、アルブミンを用いた血漿交換を行った2週後にバルボウイルスB19感染による赤芽球減少症と診断された。アルブミン由来感染かどうかを確定することはできなかったが、アルブミンなどの血液製剤によるB19感染を除外することはできない。
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	日本のブタから分離されたHEVジェノタイプ3または4の4株について熱処理およびフィルターによる除去の程度を検討した。HEVはアルブミン溶液中で60°C5時間加熱後およびフィブリノゲン中で60°C72時間加熱後も感染力が検出されたが、PBS中で60°C5時間加熱後およびフィブリノゲン中で80°C24時間加熱後には検出限界以下に不活化された。一方、20nmナノフィルター使用により完全に除去された。
96	2009/3/26	81039	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	人血液	日本	有効成分	有	無	無	B型肝炎	J Hepatol 2008; 48: 1022-1025	スロヴェニアで、HBs抗原陰性で抗HBc抗体陽性、抗HBs抗体低力価陽性、HBV DNA陽性の濃厚赤血球と新鮮凍結血漿を輸血された59歳の患者が4ヶ月後に急性B型肝炎を発症した。また同じ供血血液由来のRCCの輸血を受けた71歳の患者も7ヶ月後にHBV感染を認めた。2例ともドナーと同じ配列を有するジェノタイプDが感染していた。潜在性B型肝炎ウイルス感染者の血液は抗HBs抗体が陽性にかかわらず、感染性を有した。
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1368-1375	81038に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
97	2009/3/26	81040	日本製薬	トロンビン	トロンビン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	B型肝炎	J Hepatol 2008; 48: 1022-1025	81039に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1368-1375	81038に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ
98	2009/3/26	81041	日本製薬	人血清アルブミン(20%) 加熱人血漿たん白 人血清アルブミン(25%) 人血清アルブミン(5%)	人血清アルブミン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	B型肝炎	J Hepatol 2008; 48: 1022-1025	81039に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1368-1375	81038に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ
99	2009/3/26	81042	ジェンザイム・ジャパン	アガルシターゼ ベータ(遺伝子組換え)	アガルシターゼ ベータ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞	宿主細胞株は、Dr. L.A.Chasin(Columbia University)より入手したジヒド	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
100	2009/3/26	81043	ジェンザイム・ジャパン	アガルシダーゼ ベータ(遺伝子組換え)	ドナー子ウシ血清	ドナー子ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
101	2009/3/26	81044	光製薬	ダルテパリンナトリウム注射液	ダルテパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	口蹄疫	OIE(November 13, 2008)	中国における口蹄疫:発生日 2008年11月6日、最初の確定日 2008年11月8日、報告日 2008年11月12日、原因 口蹄疫ウイルス アジア1型。2008年11月6日にGANSU省Tianshui地区Ganguで口蹄疫のアウトブレイクが発生した。疑い例はウシ238頭、ヒツジ3頭およびブタ56頭、確定例はウシ102頭、死亡例0頭であった。疑い例は全て処分された。
												ウイルス感染	ProMED-mail20090210.0598	中国における豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)の発生。中国北部Shanxi省Hongdong県でブタ1056頭死亡。同県周辺の屠殺場7箇所でも30頭の罹患ブタが確認された。
102	2009/3/27	81045	化学及血清療法研究所	フィブリノゲン加第XIII因子	アプロチニン	ウシ肺臓	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
103	2009/3/27	81046	化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	胚初代培養細胞	ニワトリ胚	日本、米国、メキシコ	製造工程	無	無	無			
104	2009/3/27	81047	化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	トリプシン	ブタ臓臓	カナダ、米国	製造工程	無	無	無			
105	2009/3/27	81048	バクスター	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体	人血漿	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
106	2009/3/27	81049	バクスター	乾燥濃縮人血液凝固VIII因子	乾燥濃縮人血液凝固VIII因子	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
107	2009/3/27	81050	バクスター	乾燥濃縮人血液凝固VIII因子	人アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
108	2009/3/27	81051	CSL ペーリン グ	フィブリノゲン加第ⅤⅢ因子	アプロチミン 液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュー ジーランド	有効成分	無	無	無			
109	2009/3/27	81052	CSL ペーリン グ	フィブリノゲン加第ⅤⅢ因子	アンチトロン ビン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	製造工程	有	有	無	異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28 日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2008; 48: 25-30	FDAはBPDR(生物学的製剤逸脱報告システ ム)により、2005年に2例、2006年に3例、2007 年に3例の輸血によるバベシア症感染報告を 受けていた。受血者は輸血後2.5~7週で症状 が進行し、2ヶ月以内に死亡した。
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
110	2009/3/27	81053	CSL ペーリン グ	フィブリノゲン加第ⅤⅢ因子	フィブリノゲ ン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	有効成分	有	無	無	異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28 日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2008; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
111	2009/3/27	81054	CSL ペーリン グ	人血清アルブミン 人血液凝固ⅤⅢ因子 フィブリノゲン加第ⅤⅢ因子	人血清アル ブミン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	有効成分 添加物	有	無	無	デング熱	Transfusion 2008; 48: 1342-1347	81013に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2008; 48: 25-30	81052に同じ
112	2009/3/27	81055	CSL ペーリン グ	ファイブリノゲン加第ⅤⅢ因子	トロンビン末	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2008; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
113	2009/3/30	81056	伊藤ライ フサイエ ンス	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリン ナトリウム	ブタ小腸粘 膜	中華人民 共和国	有効成分	無	無	無			
114	2009/3/30	81057	サノフィ パスツ ール第 一三共 ワクチ ン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	脱線ウマ血 液	ウマ血液	フランス	製造工程	無	無	無			
115	2009/3/30	81058	サノフィ パスツ ール第 一三共 ワクチ ン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	ウシ心臓浸 出液	ウシ心臓	米国	製造工程	無	無	無			
116	2009/3/30	81059	サノフィ パスツ ール第 一三共 ワクチ ン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	ウシ骨格筋 由来成分(ペ プトン)	ウシ骨格筋	オーストラ リア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
117	2009/3/30	81060	サノフィ パスツール第一 三共ワクチン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	ペプトシ	ブタ皮	米国及び カナダ	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	OIE (December 23, 2008)	フィリピンマニラの農場で2008年10月にブタで エボラレストンウイルスが確認された。同ウイ ルスのブタへの感染を示す初の報告。
118	2009/3/30	81061	サノフィ パスツール第一 三共ワクチン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	カゼイン酸加 水分解物	ウシ乳	ニュージ ーランド	製造工程	無	無	無			
119	2009/3/30	81062	サノフィ パスツール第一 三共ワクチン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	ヘミン	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
120	2009/3/30	81063	サノフィ パスツール第一 三共ワクチン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	カゼインパン クレアチン消 化物	ウシ乳	米国、 ニュージ ーランド、 オーストラ リア、フラ ンス	製造工程	無	無	無			
121	2009/3/30	81064	サノフィ パスツール第一 三共ワクチン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	肉エキス	ウシ肝臓及 び肺	フランス	製造工程	無	無	無			
122	2009/3/30	81065	サノフィ パスツール第一 三共ワクチン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	トリプトンV	ウシ乳	ニュージ ーランド	製造工程	無	無	無			
123	2009/3/30	81066	サノフィ パスツール第一 三共ワクチン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	カゼインペ プチドN3	ウシ乳	ニュージ ーランド	製造工程	無	無	無			
124	2009/3/30	81067	サノフィ パスツール第一 三共ワクチン	乾燥ヘモフィルスb型ワクチン (破傷風トキソイド結合体)	スキムミルク	ウシ乳	米国及び 英国を除く ヨーロッパ	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
125	2009/3/30	81068	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	2008年9月に、イタリアで何年かぶりにヒトのウエストナイルウイルス(WNV)脳炎が2例報告された。1例目はFerraraとBolognaの間に住む80歳代の女性、2例目はFerraraに住む60代後半の男性であった。また、ウマ6頭とトリ13羽でWNV感染が確認された。WNV髄膜脳炎の積極的サーベイランスプログラムが開始され、当該地域で供血者スクリーニング用NATが導入された。また、当該地域に1日以上滞在したことのある供血者を28日間供血延期する措置がとられた。
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	米国の供血者のヘルペスウイルス8(HHV8)ゲノム陽性率について、高感度定量RT-PCR法(検出限界8コピー)より684名の検体を分析したがHHV8ゲノムは検出されず、健康な供血者におけるHHV8陽性率は非常に低かった。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	CJDサーベイランス委員会による調査では1999年4月から2008年2月までの9年間に日本国内で1069例がプリオン病と判定された。うち孤発性CJDが821例(76.8%)、遺伝性プリオン病が171例(16.0%)、硬膜移植後CJD74例(6.9%)、変異型CJD1例(0.1%)、分類不能2例(0.2%)であった。日本のプリオン病剖検率は欧米諸国より著明に低かった。孤発性CJDの病型は欧米に比べMM2型が多かったが、非典型例が多く剖検されている可能性が考えられた。
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	オーストリアの39歳男性が感覚異常などの神経症状で入院後、急速に悪化し、4ヶ月後に死亡した。組織学的検査で海綿状変化、神経細胞脱落及びグリオシスが、免疫組織化学的検査でびまん性シナプティックな異常プリオンの沈着が見られ、CJDと診断された。また患者のPRNPは129Met-Metであった。患者は22年前まで死体由来のヒト成長ホルモン(hGH)製剤治療を受けており、医原性リスクが認められるため、孤発性若年性CJDの可能性も否定できないが、WHO基準により確定医原性CJDと分類された。
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	米国で、古典的CJDを発症した供血者計35名に由来する血液成分の受血者430名の遡及調査の結果、孤発性CJDが輸血で伝播する証拠は無く、リスクはvCJDと比較して有意に低かった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e2878	野生型マウスおよびヒトPrPを発現しているトランスジェニックマウスに、輸血関連vCJD感染第1号症例由来の脳材料を接種し、輸血によるヒト-ヒト間の2次感染後のvCJD病原体の性質について調べた。その結果、潜伏期間、臨床症状、神経病理学的特徴およびPrP型について、vCJD(輸血)接種群はvCJD(BSE)接種群と類似していた。vCJD病原体は、ヒトにおける2次感染により、有意な変化が起こらないことが明らかとなった。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	810051と同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	810051と同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	ウイルス除去膜濾過工程を含んでいる製剤(血液凝固第VIII因子製剤: プラノバ20N濾過、抗HBs人免疫グロブリン製剤: プラノバ35N濾過)について、263K株感染ハムスターより得たSUS処理PrPScを用いて、その除去効果を検証した。その結果、SUS処理PrPScは濾過膜の孔径よりも小さいにもかかわらず、プラノバ35Nやプラノバ20Nで除去された。PrPScが凝集したり、膜へ吸着したためと考えられる。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	スクレイビー263K感染ハムスター脳乳剤を脳内接種したハムスターにおける血中PrPres経時の変化を追跡したところ、PK抵抗性3F4反応性蛋白バンドは、感染後4~6週で認められ、10週ではほぼ消失した。発症末期では血中PrPresと見られる蛋白バンドは認められなかった。PrPresをマーカーとした血液検査は感染後発症前~発症中期までに限定される可能性が示唆された。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	810131と同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	ヨーロッパにおいて報告された人口100万人当たりの新規HIV感染率は、2000年以降ほぼ2倍となった。2007年は、当該地域53カ国中49カ国から合計48,892例のHIV感染が報告され、エストニア、ウクライナ、ポルトガルとモルドバ共和国で感染率が最も高かった。
126	2009/3/30	81069	日本臓器製薬	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚	日本	有効成分	無	無	無			
127	2009/3/30	81070	日本臓器製薬	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	カゼイン性ペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
128	2009/3/30	81071	日本臓器製薬	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	カゼイン性ペプトン	ブタ膀胱	日本、カナダ	製造工程	無	無	無			
129	2009/3/30	81072	日本臓器製薬	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	漿尿膜	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
130	2009/3/30	81073	日本臓器製薬	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ皮膚	ウサギ	日本	製造工程	無	無	無			
131	2009/3/30	81074	武田薬品工業	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	マウス脳	マウス脳	日本	製造工程	無	無	無			
132	2009/4/1	90001	日本ビーシージー製造	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタの小腸	中国	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO/WER 2009; 84: 49-56	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
												インフルエンザ	Eurosurveillance 2009; 14: 1-2	2008年11月8日、スペイン北東部、家内養豚場勤務の50歳女性がインフルエンザ様症状を発症し、ブタインフルエンザAH1N1が検出された。近縁者、同僚等での症状は認められていない。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												神経系障害	Feedstuff Breaking News (2009/3/3)	2007年に、米国の豚肉製造工場で脳摘出のために圧縮空気を使用していたミネソタ州、インディアナ州、ネブラスカ州の3つの工場の作業員において慢性的な炎症性の脱髄性多発性神経障害が発生している。すでに自主的にこの作業は中止されている。
133	2009/4/1	90002	日新製薬	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタの腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	インフルエンザ	Eurosurveillance 2009; 14: 1-2	90001に同じ
												エボラ出血	WHO/WER 2009; 84: 49-56	90001に同じ
												神経系障害	Feedstuff Breaking News (2009/3/3)	90001に同じ
134	2009/4/1	90003	化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	血液凝固第Ⅸ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	ProMED-mail20080828.2697	80995に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20081028.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	ユンガンウイルスは、マウスにおいて胎児死亡や奇形を起こすことが知られているが、疫学的データから、ヒトにおいても子宮内胎児死亡に関連していることが示唆された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	日本国内の前立腺がん患者30例の血清のうち2例からGagに対する特異的抗体反応が認められ、そのうち1例からはXMRV(Xenotropic MuLV-related virus)核酸を検出した。また、献血者120例中5例でもGagに対する特異的抗体反応が認められた。日本国内の前立腺がん患者集団中にもXMRV感染が存在することが示唆された。
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	ジンバブエ保健当局からのコレラアウトブレイクの報告。2008年8月26日から2009年1月31日までに61,304例の感染疑い、3,181例の死亡。また、ボツワナ、モザンビーク、ケニヤ、マラウイ、ナミビア、ナイジェリア、ギニアビサウ及びトーゴといった周辺国からも発生が報告されている。
135	2009/4/1	90004	化学及血清療法研究所	乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥ボツリヌスウマ抗毒素	ウマ免疫グロブリン	ウマ血液	日本	有効成分	無	無	無			
136	2009/4/1	90005	化学及血清療法研究所	乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 乾燥ボツリヌスウマ抗毒素	クックドミート	ウシ心臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
137	2009/4/1	90006	化学及血清療法研究所	乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 乾燥ボツリヌスウマ抗毒素	クックドミート	ブタ胃	米国	製造工程	無	無	無			
138	2009/4/1	90007	化学及血清療法研究所	乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素	プロテオースペプトン	ウシ胃	米国	製造工程	無	無	無			
139	2009/4/1	90008	化学及血清療法研究所	乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素	プロテオースペプトン	ブタ胃	米国	製造工程	無	無	無			
140	2009/4/1	90009	化学及血清療法研究所	乾燥ボツリヌスウマ抗毒素	肝臓	ウマ肝臓	日本	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
141	2009/4/1	90010	化学及血清療法研究所	乾燥ボツリヌスウマ抗毒素	ブイオン	ブタ胃	ニュージーランド、オーストラリア、米国	製造工程	無	無	無			
142	2009/4/1	90011	化学及血清療法研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	血液	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
143	2009/4/1	90012	化学及血清療法研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	パングレアチン	ブタ膵臓	カナダ、イタリア、米国	製造工程	無	無	無			
144	2009/4/1	90013	日医工	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
145	2009/4/1	90014	日医工	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
146	2009/4/2	90015	東菱薬品工業	バトロキソピン	バトロキソピン	蛇毒	ブラジル	有効成分	無	無	無			
147	2009/4/2	90016	東菱薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ皮膚	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
148	2009/4/3	90017	富士製薬工業	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	妊婦の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	細菌感染	ProMED-mail20081120.3661	CDC中国国立研究所の研究者らによる研究で、中国における初めてのヒト顆粒球アナプラズマ症(HGA)症例およびそれに続くHGAの初めてのヒト-ヒト感染が報告された。指標患者は発熱・出血の発症の12日前にダニに刺され、安徽省の病院に入院し、死亡した。死亡前12時間に患者と濃厚接触した28名中9名がAnaplasma phagocytophilumに感染した。9名全員が血液に接触し、7名が気道分泌物に接触していた。この研究はJAMA2008年11月19日号に掲載された。
												ウイルス感染	Bulletin of WHO 2008; 86: 912-913	2008年10月初旬に南アフリカでアレナウイルスによる感染のアウトブレイクが同定された。9月12日から10月24日までに計5例が報告され、5例中4例が死亡し、1例は入院中であり、リバビリンにより回復した。塩基配列分析より、新型の旧大陸アレナウイルスが原因であることが明らかとなった。現在のところ新たな疑い症例はない。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	WHO 2009年1月19日	中国保健省はH5N1鳥インフルエンザのヒト感染例を3例報告した。1例目は山東省27歳女性で1月5日に発症し、17日に死亡。2例目は山西の2歳女児で1月7日発症し重篤である。3例目は湖南省16歳男性で1月8日に発症し重篤である。
												HIV	Retrovirology 2008; 5: 103	シエラレオネ共和国から米国への移民男性においてHIV-2の新たなグループ(HIV-2-NWK-08F)が分離された。シエラレオネのサル的一种で確認されているサル免疫不全ウイルスと系統学的に類似している。感染者はサル接触歴、刺青、針刺し、輸血歴もなくヒト-ヒト感染が疑われている。
149	2009/4/3	90018	富士製薬工業	トロンピン	トロンピン	ウシの血液	オーストラリア、ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
150	2009/4/3	90019	富士製薬工業	トロンピン	トロンボプラスチン	ブタの肺	デンマーク	製造工程	有	無	無	エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
151	2009/4/3	90020	デンカ生研	沈降精製百日せきジフテリア破傷風ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 破傷風トキソイド	ハートエキス	ウシの心臓	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	埼玉県における2002年1月～2007年12月の腸管出血性大腸菌の患者・保菌者372例と非発症者477例を対象とした牛肉の喫食状況のリスクを調査したケースコントロール研究である。20～29歳ではレバ刺し、ハンバーグ、50～59歳ではレバ刺しに関して有意差があった。
152	2009/4/3	90021	デンカ生研	沈降精製百日せきジフテリア破傷風ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド	カザミノ酸	ウシの乳	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
153	2009/4/3	90022	デンカ生研	ワイル病秋やみ混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン コレラワクチン	ポリペプチン	ウシの乳	中国又はポーランド	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ
154	2009/4/3	90023	デンカ生研	沈降精製百日せきジフテリア破傷風ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきワクチン 百日せきワクチン ジフテリアトキソイド 破傷風トキソイド コレラワクチン	スキムミルク	ウシの乳	日本又はアメリカ	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ
155	2009/4/3	90024	デンカ生研	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	ラクトアルブミン水解物	ウシの乳	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ
156	2009/4/3	90025	デンカ生研	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ウシ血清	ウシの血液	製造中止	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ
157	2009/4/3	90026	デンカ生研	日本脳炎ワクチン	ウシ胎児血清	ウシ胎児の血液	アメリカ	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
158	2009/4/3	90027	デンカ生研	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	尿膜腔液	ニワトリの受精卵	日本	製造工程	有	無	無	サルモネラ	CDC/MMWR 2009; 58: 25-29	2007年6月、ミネソタ州においてSalmonella Montevideo(PFGE pattern 1)が初めて2例確認され、両者とも同じ孵化場のニワトリに暴露しており、その後さらに7例が確認されたため、全米で調査が行われ、65件が確認された。またS.Montevideo(PFGE pattern 2)についても、最初に2004年に確認された後、64件の分離が確認され、これは別の2箇所の孵化場からのニワトリ暴露に関連していた。
159	2009/4/3	90028	デンカ生研	沈降精製百日せきジフテリア破傷風ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきワクチン 破傷風トキソイド	ペプトン	ブタの胃	日本又はアメリカ	製造工程	有	無	無	日本脳炎	第40回日本小児感染症学会総会・学術集会 F-13	2007年度感染症流行予測調査事業より、国内のヒト及びブタの日本脳炎抗体保有状況の報告。調査された32都道府県のうち、HI価1:10以上のブタ抗体保有率が50%を超えた地域は、高知県(7月下旬までに)、中国・四国・九州地方(8月下旬までに)、富山県、山梨県、静岡県(9月までに)に広がり16県に及んだ。
												エボラ出血	OIE press release 23Dec2008	80963に同じ
												インフルエンザ	日本ウイルス学会第56回学術集会 2E05	タイで分離された豚インフルエンザウイルス12株の遺伝子について系統解析を行い、9つの遺伝型に区別された。
												鳥インフルエンザ	日本ウイルス学会第56回学術集会 3F03	インドネシアにおいて鳥インフルエンザH5N1の豚への感染状況が調査され、系統解析の結果、遺伝的に異なる3種類のH5N1ウイルスが感染しており、ヒト型レセプターを認識する変異を有するものも確認された。
												エボラ出血	WHO/WER 2009; 84: 49-56	90001に同じ
160	2009/4/3	90029	デンカ生研	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 百日せきワクチン	ヒツジ血液	ヒツジの血液	製造中止	製造工程	無	無	無			
161	2009/4/3	90030	デンカ生研	ワイル病秋やみ混合ワクチン	ウサギ血清	ウサギの血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
162	2009/4/3	90031	デンカ生研	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	マウス脳	マウスの脳	日本	製造工程	有	無	無	レプトスピラ症	Jpn J Infect Dis 2008; 61: 465-468	ヒトでのレプトスピラ感染が発生した2006年夏の宮崎県北部における動物の保菌状況を調査した。患者の血清は、特に各々の患者が発生した地域周辺で捕獲された野ネズミから分離されるレプトスピラ菌株と一致し、野ネズミが人間のレプトスピラ感染の原因であることを示唆した。また、猟犬からも抗レプトスピラ抗体が検出された。ハンターや食肉加工業の労働者での潜在的危険を示している。
												E型肝炎	日本ウイルス学会第56回学術集会 2P021	HEV Genotype3型の感染が確認されている豚舎周辺のドブネズミの感染保有状況の調査。9/56匹のドブネズミからHEV-RNA(Genotype3)が検出され、11/56匹からHEV抗体が確認された。
												E型肝炎	日本ウイルス学会第56回学術集会 2P022	タイの養豚場における齧歯類のE肝ウイルスの検出。養豚場に生息するラットから、ブタから分離されたHEV-RNAと一致するHEV-RNAが分離された。ラットがE型肝炎ウイルスを蓄積する宿主となっている可能性がある。
163	2009/4/3	90032	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	SPFウズラ胚	SPF発育ウズラ卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	ProMED-mail20090228-0826	2009年2月、愛知県豊橋市において、1925年以来検出されていないH7トリインフルエンザウイルスのウズラへの感染が確認された。その後の調査で、このウイルスは国内では初のH7N6亜型であることが判明した。感染農場、周辺地域では家畜の移動制限、殺処分が実施され感染拡大防止措置が取られている。ヒトへの感染は認められていない。感染源は不明。
164	2009/4/3	90033	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	SPFニワトリ胚	SPF発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
165	2009/4/3	90034	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生水痘ワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 水痘抗原 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン	ウシ血清	ウシの血液	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
166	2009/4/3	90035	阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド 乾燥まむし抗毒素 乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥破傷風抗毒素	ウマ血清	ウマの血液	米国	製造工程	無	無	無			
167	2009/4/3	90036	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生水痘ワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 水痘抗原 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン	エリスロマイシンラクチオン酸塩	ウシの乳	オランダ、米国、カナダ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
168	2009/4/3	90037	阪大微生物病研究会	百日せきワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	カザミノ酸	ウシの乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
169	2009/4/3	90038	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 日本脳炎ワクチン 水痘抗原	コレステロール	ヒツジの毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
170	2009/4/3	90039	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生水痘抗原ワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 水痘抗原 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン	トリブシン	ブタの隣臓	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	エボラ出血	Science 2009; 323: 451	フィリピン。2007～2008年に養豚場のブタの死亡率が上昇したことをうけ、政府の調査が実施され、ブタ繁殖・呼吸器障害症候群(PRRS)ウイルス強毒株およびEbola-Restonウイルスの感染が確認された。ブタからEbola-Restonウイルスの検出は初めてである。
171	2009/4/3	90040	阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	ニワトリ肉エキス	ニワトリの肉、骨	該当なし(製造中止)	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
172	2009/4/3	90041	阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	ブタ肉エキス	ブタの肉、脂肪	該当なし(製造中止)	製造工程	有	無	無	エボラ出血	Science 2009; 323: 451	90039に同じ
173	2009/4/3	90042	阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	ペプトン	ウシの乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
174	2009/4/3	90043	阪大微生物病研究会	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	マウスの脳	マウス	日本	製造工程	無	無	無			
175	2009/4/3	90044	阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	牛肉消化液	ウシの筋肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
176	2009/4/3	90045	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	人血清アルブミン	ヒトの血液	該当なし(製造中止品目)	添加物	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
177	2009/4/3	90046	阪大微生物病研究会	百日せきワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	脱繊維牛血液	ウシの血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
178	2009/4/3	90047	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生風しん混合ワクチン 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン	乳糖水和物	ウシの乳	オランダ、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド	添加物	無	無	無			
179	2009/4/3	90048	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生水痘ワクチン 水痘抗原	MRC-5	ヒト胎児肺二倍体細胞	1966年に樹立したマスタセルバンクに使用したヒトの細胞株	製造工程	無	無	無			
180	2009/4/3	90049	阪大微生物病研究会	乾燥痘そうワクチン 痘そうワクチン	ウシの皮膚	ウシの皮膚	該当なし(製造中止品目)	製造工程	無	無	無			
181	2009/4/6	90050	田辺三菱製薬株式会社	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国、アメリカ、カナダ、オーストラリア	有効成分	無	無	無			
182	2009/4/6	90051	大洋薬品工業	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	無	無	無			
183	2009/4/6	90052	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分	無	無	無			
184	2009/4/6	90053	大洋薬品工業	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	無	無	無			
185	2009/4/7	90054	あすか製薬	日局ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
186	2009/4/7	90055	あすか製薬	精製下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
187	2009/4/9	90056	ニプロファーマ	ヘパリンナトリウム注射液 ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国、アメリカ、カナダ、オーストラリア	有効成分	有	無	無	エボラ出血	OIE press release (December 23, 2008)	2007～2008年フィリピンでの養豚場でブタの死亡率が上昇し、政府が調査をした結果、2008年10月にブタでエボラレストンウイルス及びブタ繁殖・呼吸器障害症候群(PRRS)ウイルス強毒性株の感染が確認された。エボラレストンウイルスのブタへの感染を示す初の報告。
												エボラ出血	ProMED-mail20090123.0293	フィリピンマニラの農場で2008年10月にブタで始めてエボラレストンウイルスが確認され、2009年1月には当該農場の労働者少なくとも1名で抗体陽性を示した。同ウイルスのブタからヒトへの感染を示す初の報告。
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年2月3日	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
188	2009/4/9	90057	テルモ	—	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国、中国	有効成分	有	無	無	ブドウ球菌感染	ProMED-mail20090126.0348	アイオワ大学の疫学研究者らは米国のブタにおいてメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)に関する調査を行った。アイオワ州とイリノイ州の2つの農場において併せてブタ299頭及び養豚場で働く20名の検査を行い、生産システムAの農場では70%のブタ及び64%のヒトがMRSAのST398株のキャリアであった。一方、生産システムBの農場ではMRSAは検出されなかった。
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年2月3日	90056に同じ
												サルモネラ	ProMED-mail20090209.0582	フィリピン・サマル州において2008年12月以降ブタでサルモネラ感染が流行し、84頭が死亡、約772頭が罹患した。その他25頭が感染疑いでと殺された。2月9日現在、感染は制御されたと、同地域の農業省職員が述べた。
189	2009/4/10	90058	沢井製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
190	2009/4/10	90059	沢井製薬	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	無	無	無			
191	2009/4/10	90060	沢井製薬	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
192	2009/4/13	90061	宇治製薬	コンドロイチン硫酸鉄コロイド	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨	米国	添加物	無	無	無			
193	2009/4/14	90062	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMC Vet Res 2008; 4: 14	スクレイピー高感受性のプリオン蛋白質遺伝子型(VRQ/VRQ)保有の子羊に、VRQ/VRQを保有するスクレイピー感染雌羊の乳を与えたところ、子羊のリンパ組織から疾患関連プリオン蛋白質が検出された。また、スクレイピー感染雌羊の乳を与えた子羊を与えていない子羊と混合飼育したところ、与えていない子羊において疾患関連プリオン蛋白質が検出された。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000238	スクレイピー潜伏感染し、マレディレンチウイルス感染による乳房の異所性リンパ濾胞が認められた雌羊の乳管及び乳房から異常プリオン蛋白質が検出された。ただし、乳腺に病変のないスクレイピー潜伏感染雌羊の乳にもプリオン感染性が認められた。TSEが潜伏感染する反芻動物の乳が、直接又は飼料中の乳由来成分を通して動物間のTSE伝播に関与することが示された。
												ウイルス感染	Vet Microbiol 2009; 133: 184-189	ブタ及びヒツジの糞便検体のノロウイルススクリーニングをmultiplex real-timeRT-PCRで実施した。ブタでは2/23検体で遺伝子群Ⅱ、ヒツジでは8/33検体で遺伝子群Ⅲが陽性であった。臨床的異常は認められていない。ゲノム配列分析から、ヒツジで検出された株は新たなGⅢ遺伝子群であることが示唆された。
194	2009/4/14	90063	北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血液	米国	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMC Vet Res 2008; 4: 14	90062)と同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000238	90062に同じ
												ウイルス感染	Vet Microbiol 2009; 133: 184-189	90062に同じ
195	2009/4/14	90064	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	トリブシン	ブタ隣臓	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	クロストリジウム感染	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1039-45	動物からヒトへのClostridium difficileの異種間伝播を調査するため、ヒトの疾患に関連するToxinotype V株、動物及びヒトに由来するToxinotype V株の遺伝的関連性、in vitroのこれらの株の毒素産生性を調べた。その結果、ヒトとブタから分離されたToxinotype V株間で高い類似性が認められた。全ての分離株で39bp tcdC欠損が見られ、大部分がバイナリートキシンを産生した。
												エボラ出血	OIE press release 23Dec2008	80963に同じ
												ウイルス感染	Vet Microbiol 2009; 133: 184-189	90062に同じ
196	2009/4/14	90065	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ウシ血液	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
197	2009/4/14	90066	武田薬品工業	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ウサギ腎細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
198	2009/4/14	90067	日本化薬	乾燥BCG膀胱内用(コンノート株)	生きたカルメット・ゲラン菌(BCG)・コンノート株	牛型結核菌生菌	カナダ	有効成分	無	無	無			
199	2009/4/15	90068	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	日本	有効成分	有	有	無	ウイルス性脳炎	ProMED-mail20080828.2697	80995に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20081028.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	vCJDと関連のない疾患で死亡し、生前にvCJD又は他の神経学的症状を示していなかった男性血友病患者の剖検時に、異常プリオンタンパクが確認された。この男性は、献血後にvCJDを発症したドナー血漿を含む原料から製造された第Ⅷ因子製剤を使用していた。
200	2009/4/15	90069	化学及血清療法研究所	人免疫グロブリン ヒスタミン加人免疫グロブリン製剤	免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	ProMED-mail20080828.2697	80995に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20081028.3409	80995に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	809951に同じ
												ウイルス感染	ProMED- mail2009012 9.0400	900031に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travele rs' Health 2009年2月4 日	900031に同じ
												コレラ	CDC/Travele rs' Health 2009年2月4 日②	900031に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPA/News 2009年2月17 日	900681に同じ
201	2009/4/15	90070	化学及 血清療 法研究 所	乾燥濃縮人活性化プロテインC 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	マウス由来 モノクローナ ル抗体	マウス脾臓	日本	製造工程	無	無	無			
202	2009/4/16	90071	ジェンザ イム・ ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブ リン	抗ヒト胸腺細 胞ウマ免疫 グロブリン	ウマ血漿	フランス	有効成分	無	無	無			
203	2009/4/16	90072	ジェンザ イム・ ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブ リン	胸腺細胞	ヒト胸腺	ベルギー、 スペイン、 フランス、 イタリア、リ トアニア、 ポーランド、 ノル ウェー、デ ンマーク、 スウェーデ ン	製造工程	無	無	無			
204	2009/4/16	90073	ジェンザ イム・ ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブ リン	赤血球スト ローマ	ヒト血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
205	2009/4/16	90074	ジェンザ イム・ ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブ リン	胎盤組織	ヒト胎盤	フランス	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
206	2009/4/16	90075	ジェンザイム・ジャパン	アルゲルコシダーゼ アルファ (遺伝子組換え)	アルゲルコシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞	宿主細胞株は、Dr.Lawrence Chasin(Columbia University)より入手	有効成分	無	無	無			
207	2009/4/16	90076	ジェンザイム・ジャパン	アルゲルコシダーゼ アルファ (遺伝子組換え)	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
208	2009/4/16	90077	ジェンザイム・ジャパン	アルゲルコシダーゼ アルファ (遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
209	2009/4/17	90078	沢井製薬	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
210	2009/4/17	90079	日本ビーシー製造	乾燥BCGワクチン 乾燥BCG膀胱内用(日本株)	ウシの胆汁	ウシの胆嚢	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Virology Vol.379 No.2 284-293, 2008	80973に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, Vol.14, No.12,1898-1901,2008	80973に同じ
211	2009/4/20	90080	扶桑薬品工業	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタの腸粘膜	米国、カナダ、中国	有効成分	有	無	無	インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1470-1472	米国で2005年12月にインフルエンザA型と診断された17歳少年の鼻洗浄検体から分離されたウイルスは、CDCで決定されたウイルスの全ゲノム配列から、ブタインフルエンザA(H1N1)トリプル再集合体ウイルス(A/Wisconsin/87/2005H1N1)と同定された。患者は発症の3日前にブタの屠殺を手伝っており、ブタの呼吸器分泌物が感染源として最も疑われた。
												ロタウイルス	J Med Virol 2008; 80: 1666-1674	1982年12月~1986年3月のブラジル・ベレン郊外でC群ロタウイルス(RVC)の流行に関する調査が実施された。生後~3歳まで追跡された小児30例の糞便検体から17検体でブタRVCが検出された。また、VP6遺伝子の配列分析から14株は完全に相同であり、同一のブタRVC株がベレンで流行していることが示唆された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												レンサ球菌感染	病原微生物検出情報 2008; 29: 257-258	日本において精肉加工業の68歳男性がブタ連鎖球菌性髄膜炎を発症した。敗血症、急性腎不全、DICを合併した。具体的な感染経路は確認されていない。
												レンサ球菌感染	J Infect 2008; 57: 158-161	オランダで3.5年間の観察コホート研究において696例の細菌性髄膜炎患者が同定され、うち4例がブタ連鎖球菌性髄膜炎であった。全4例でブタへの暴露が関係していた。3例が重度の難聴の後遺症を呈した。
												サルモネラ	Eurosurveillance 2008; 13: 19020	2008年5~6月、スイスでSalmonella Typhimurium患者報告数が増加し、72例の患者を対象に調査が行われた。FGEタイピングの結果から、複数のアウトブレイク株が同定された。そのうちの1つの株"株2"が43例を占めていたが、食品からの分離株で一致するものはなかった。11例から分離された"株1"及び6例から分離された"株3"は食肉製造業者の豚肉検体から一致する株が分離された。
												ブドウ球菌感染	Ugeskr Laeger 2008; 170: 3436-3437	デンマークにおいて職業上のブタ接触者2例で、MRSA感染が確認された。ST398及びt034という特徴も併せ、ブタが感染源であると判断された。
												インフルエンザ	ProMED-mail20081125.3715	CDCはインフルエンザ活動性の最新情報で、ブタに数回接触後にブタインフルエンザA/H1N1ウイルスに感染したヒトについて報告した。CDCによると毎年約1例のブタインフルエンザ陽性ヒト症例がある。この患者は10月中旬に病気になったと、テキサス州保健サービスは報告しているが、詳細は不明である。患者の家族や接触者では発症しなかった。
												レンサ球菌感染	Emerg Med J 2008; 25: 607-608	イギリスで35歳の精肉店勤務の男性がブタ連鎖球菌性髄膜炎を発症した。業務上負った手の切り傷からの感染と思われる。
												レンサ球菌感染	Epidemiol Infect 2008; 136: 1691-1697	2003年1月1日~2005年7月31日の期間に香港の公立病院に入院し、ブタ連鎖球菌感染症と診断された患者は21例であり、半数が65歳以上、大半が夏に発症であった。5例がブタや豚肉への職業的接触があり、4例は発症前に生の豚肉を調理していた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												旋毛虫症	Vet Parasitol 2008; Epub: 4590	1990年～2006年のブルガリアにおける旋毛虫症の疫学調査結果である。145件のアウトブレイクと238例の散発症例が確認され、総計7544例が旋毛虫に汚染された肉を摂食し、4108例が感染し、2237例が発症したと判断された。そのうち入院は1014例、死亡は2例であり年間発症率は人口10万人あたり0.27～7.40であった。アウトブレイクの主な原因はイノシシ肉(57件)と豚肉(67件)であった。
												レンサ球菌感染	J Infect 2008; 57: 392-396	ブタ連鎖球菌感染症の死亡のリスク因子を特定することを目的とした後ろ向きコホート研究が、2005～2007年のタイ北部のターシャリーケア病院のブタ連鎖球菌感染症患者を対象に実施された。Cox's回帰分析により、敗血症性ショック、ALT上昇が死亡のリスク因子であることが明らかになった。
												エボラ出血	ProMED-mail2009012 3.0293	900561に同じ
212	2009/4/20	90081	CSL ベーリン グ	フィブリノゲン加第XIII因子 人血液凝固第XIII因子	人血液凝固 第XIII因子	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストラリア	有効成分	有	無	無	異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28 日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
213	2009/4/20	90082	CSL ベーリン グ	乾燥pH4処理人免疫グロブリン	ペプシン	ブタ胃粘膜	米国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
214	2009/4/20	90083	CSL ペーリン グ	抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストラリア	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
215	2009/4/20	90084	CSL ペーリン グ	乾燥pH4処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	ドイツ	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
216	2009/4/20	90085	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え) レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ(遺伝子組換え) トシリズマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明	製造工程	無	無	無			
217	2009/4/20	90086	中外製薬	トシリズマブ(遺伝子組み換え)注	ガラクトース	ウシ乳	米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
218	2009/4/20	90087	中外製薬	レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血清	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
219	2009/4/20	90088	中外製薬	レノグラスチム(遺伝子組換え) エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	DMEM/F12	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
220	2009/4/20	90089	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブタラード ウオーター	ブタ脂肪	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ
221	2009/4/20	90090	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ペブシン	ブタ胃液	米国	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ
222	2009/4/20	90091	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトン HS/UF	ウシ脾臓、 心臓、ウマ 脾臓、脛 肉、ブタ ラード ウオーター	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ
223	2009/4/20	90092	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え) ストレプトコックスピオゲネス(A 群3型)Su株ペニシリン処理凍 結乾燥粉末	パンクレアチ ン	ブタ膵臓	米国、カナ ダ、日本、 フランス	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	FDA/CDER Meeting of the Antiviral Drugs Advisory Committee 2008年12月2 日	80963に同じ
												ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ
224	2009/4/20	90093	中外製薬	レノグラスチム(遺伝子組換え) エポエチン ベータ(遺伝子組換 え)	ブタインスリ ン	ブタ膵臓	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	FDA/CDER Meeting of the Antiviral Drugs Advisory Committee 2008年12月2 日	80963に同じ
												ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
225	2009/4/20	90094	中外製薬	レノグラステム(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血漿	不明	製造工程	有	無	無	リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report 2009; 43: 78	90183に同じ
												マールブルグ出血熱	CCDR weekly 2009.2.13 138304	米国CDCは2008年にコロラドの病院で治療を受けた1例がマールブルグ出血熱に感染していたことを2009年1月末に確認した。米国における初の症例。当該症例はウガンダを訪問中にオオコウモリが生息する洞窟を訪問し、感染したとされている。
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												BSE	BMC Vet Res 2008; 4: 14	90062に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
226	2009/4/22	90095	持田製薬	硫酸フラジオマイシン/結晶トリプシン インターフェロン ベータ	トリプシン	ウシ膵臓	ニュージーランド、オーストラリア、ブラジル	有効成分製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												BSE	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ
227	2009/4/22	90096	持田製薬	インターフェロン ベータ	インスリン	ウシ膵臓	—	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												BSE	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
228	2009/4/22	90097	持田製薬	インターフェロン ベータ	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												BSE	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ
229	2009/4/22	90098	持田製薬	インターフェロン ベータ	トリブシン	ブタ臓臓	—	製造工程	有	無	無	エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	90299に同じ
230	2009/4/22	90099	持田製薬	インターフェロン ベータ	カルボキシペプチダーゼ	ブタ臓臓	米国	製造工程	有	無	無	エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	90299に同じ
231	2009/4/22	90100	持田製薬	インターフェロン ベータ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												デング熱	N Engl J Med 359(14):1526-1527 Oct.2, 2008	シンガポールにおける輸血によるデング熱出血感染症: 2007年7月に献血をしたデング熱ウイルス(2型)無症候性ドナーから赤血球及び新鮮凍結血漿レシピエント(2例)がデング熱ウイルス(2型)陽性であることが判明し、血小板レシピエント(1例)も二次性デング熱感染について血清学的エビデンスがあった。
												感染	日本医真菌学会雑誌 2008; 49: 92 第52回 日本医真菌学会総会 2008年9月10-11日	81005に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263- 2270	81005に同じ
												エボラ出血	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000212	81005に同じ
												ハンセン病、ら い腫型	Eurek Alert November 24, 2008	散在性らい腫性ハンセン病で死亡した患者の 検体の遺伝子分析より、ハンセン病の唯一の 病原菌と考えられていたMycobacterium leprae に加えて、新書の病原菌、M. lepromatosisを確 認した。
												細菌感染	日本感染症学 会西日本 地方会学術 集会 第78回 2008年12月5 -6日 063	81005に同じ
												レトロウイルス	日本ウイルス学 会第56回学 術集会 2P111	日本でのXMRV感染のスクリーニングを行い、 前立腺がん患者では2/30例、献血者では 5/120名が抗体陽性であった。さらに抗体陽性 前立腺がん患者血清1検体よりウイルス核酸を 検出した。日本国内の前立腺がん患者集団中 にXMRV感染の存在が示唆された。
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
232	2009/4/22	90101	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												感染	日本医真菌学会雑誌 2008; 49: 92 第52回 日本医真菌学会総会 2008年9月10-11日	81005に同じ
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FEBS Letters 2008; 582: 3161-3166	81005に同じ
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												エボラ出血	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000212	81005に同じ
												ハンセン病、ら い腫型	Eurek Alert November 24, 2008	90100に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	日本感染症学会西日本地方会学術集会 第78回 2008年12月5-6日 063	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	81005に同じ
												レトロウイルス	日本ウイルス学会第56回学術集会 2P111	日本でのXMRV感染のスクリーニングを行い、前立腺がん患者では2/30例、献血者では5/120名が抗体陽性であった。さらに抗体陽性前立腺がん患者血清1検体よりウイルス核酸を検出した。日本国内の前立腺がん患者集団中にXMRV感染の存在が示唆された。
233	2009/4/22	90102	日本臓器製薬	低分子ヘパリン	低分子ヘパリン	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
234	2009/4/22	90103	日本臓器製薬	—	培養ヒトリンパ芽球(JM細胞株)	ヒト(急性リンパ性白血病患者)末梢血	ドイツ	製造工程	無	無	無			
235	2009/4/22	90104	日本臓器製薬	—	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	培養ヒトリンパ芽球免疫ウサギ血清	ドイツ、ハンガリー	有効成分	無	無	無			
236	2009/4/22	90105	日本臓器製薬	—	ヒト胎盤ホモジネート	ヒト胎盤	ドイツ	製造工程	無	無	無			
237	2009/4/22	90106	日本臓器製薬	—	ヒト赤血球	ヒト血液	ドイツ	製造工程	無	無	無			
238	2009/4/22	90107	日本臓器製薬	—	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
239	2009/4/22	90108	日本臓器製薬	—	ウシ乳児血清	ウシ血液	米国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
240	2009/4/22	90109	株式会社大塚製薬工場	—	ヘパリンナトリウム	健康なブタの小腸粘膜抽出物	米国、カナダ、中国	有効成分	有	無	無	レンサ球菌感染	J Infect 2008; 57: 158-161	90080に同じ
												ブドウ球菌感染	Ugeskr Laeger 2008; 170: 3436-3437	90080に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20081125.3715	90080に同じ
												レンサ球菌感染	Emerg Med J 2008; 25: 607-608	90080に同じ
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年2月3日	90056に同じ
241	2009/4/22	90110	武田薬品工業	注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有	無	無	B型肝炎	J Hepatol 2008; 48: 1022-1025	81039に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1368-1375	81038に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
242	2009/4/22	90111	武田薬品工業	注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	ウシの乳由来成分	ウシの乳	オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ	製造工程	無	無	無			
243	2009/4/23	90112	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒトの肝臓	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												狂犬病	Emerg Infect Dis. 2008 Dec (Epub ahead of print)	新たな狂犬病ウイルス変異体の同定: アメリカのカリフォルニアで狐にかまれたメキシコ移民男性が2008年3月に死亡した。脳のサンプルから単離したウイルスの塩基配列の解析より昆虫食コウモリの狂犬病ウイルスクレイドの特徴的分子構造を有するが、遺伝的多様性としては5%あり、高度に保存された321番目のヒステジジンがグルタミンに変異していることから、新たな狂犬病ウイルスとして分類した。
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	日本感染症学会東日本地方会学術集会 第57回 2008年10月23-24日 058	Lactococcus garvieaeが起炎菌と考えられる腰椎椎体炎の1例。当該菌による骨髄炎は2000年に1例報告されて以来、世界第2例目である。
												ハンセン病、らい腫型	Am J Clin Pathol, 130; 856-864, 2008	広範性らい腫らい(DLL)により死亡した患者からMycobacterium属の新種が確認された: DLLにより死亡した1症例から肝組織、他の1症例から皮膚組織から抗酸菌のDNAを抽出し16Sribosomal RNA遺伝子および他の5つの遺伝子の相同性を解析した。その結果。らい腫(M. leplae)と共通の起源ではあるが、そこから分岐した別のmycobacteriaであることからM. lepromatosisと命名した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	日本感染症学会西日本地方会学術集会 第78回 2008年12月5-6日 063	810051と同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129-0400	900031と同じ
												レトロウイルス	日本ウイルス学会第56回学術集会 2P111	901011と同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	Anaplasma phagocytophilumによるアナプラズマ症の本邦初の症例。2002～2003年の高知県で日本紅斑熱が疑われた18例の血餅から、2例で、A. phagocytophilumに特異的なp44/msp2外膜蛋白遺伝子群のPCR産物が検出された。
244	2009/4/23	90113	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ胎児血清	ウシの血液	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
245	2009/4/23	90114	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ血清アルブミン	ウシの血液	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
246	2009/4/23	90115	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	DNase 1	ウシの臓腑	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
247	2009/4/23	90116	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウサギ抗ヒト血清アルブミン交代	ウサギの血液	日本	製造工程	無	無	無			
248	2009/4/23	90117	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	マウス抗HBsモノクローナル抗体	マウスの血液	日本	製造工程	無	無	無			
249	2009/4/23	90118	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	トリブジン	ブタの臓腑	アメリカ	製造工程	有	無	無	エボラ出血	WHO/OIE 2008年12月23日	フィリピン。2007～2008年に養豚場のブタの死亡率が上昇したことをうけ、政府の調査が実施され、ブタ繁殖・呼吸器障害症候群(PRRS)ウイルス強毒株およびEbola-Restonウイルスの感染が確認された。ブタからEbola-Restonウイルスの検出は初めてである。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129-0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
252	2009/4/23	90121	化学及血清療法研究所	トロンビン フィブリノゲン加第XⅢ因子 乾燥濃縮人活性化プロテインC	トロンビン	ヒト血液	日本	有効成分 製造工程	有	無	無	ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20081028.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
253	2009/4/23	90122	化学及血清療法研究所	フィブリノゲン加第ⅤⅢ因子 乾燥濃縮人活性化プロテインC 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子 乾燥スルホ化人免疫グロブリン 人血清アルブミン 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分 添加物	有	有	無	ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124- 14129	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED- mail2008102 8.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED- mail2009012 9.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travele rs' Health 2009年2月4 日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travele rs' Health 2009年2月4 日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17 日	90068に同じ
254	2009/4/23	90123	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC	プロテインC	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED- mail2008102 8.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129-0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	近年、5番目のマラリア原虫として、サルマラリアであるPlasmodium knowlesiのヒトへの感染例がマレーシア及びその周辺において多数確認されており、人畜共通感染症の病原体として新興している可能性が示されている。
255	2009/4/23	90124	化学及血清療法研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	アボセルロブラスミン	ヒト血液	日本	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20081028.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ
256	2009/4/23	90125	化学及血清療法研究	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	デオキシリボヌクレアーゼI	ウシ臍臓	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
257	2009/4/23	90126	化学及血清療法研究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥ボツリヌスウマ抗毒素	リボヌクレアーゼA	ウシ臍臓	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
258	2009/4/23	90127	デンカ生研	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	ウシ血清	ウシ血液	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ
259	2009/4/23	90128	デンカ生研	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	ウシ胎児血清	ウシ胎児の血清	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ
260	2009/4/23	90129	デンカ生研	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	DNase I	ウシの臍臓	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ
261	2009/4/23	90130	デンカ生研	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	RNase A	ウシの臍臓	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	大腸菌性胃腸炎	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会 13-019	90020に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
262	2009/4/23	90131	デンカ生研	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	トリブシン	ブタの膵臓	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	日本脳炎	第40回日本小児感染症学会総会・学術集会 F-13	90028に同じ
												エボラ出血	OIE press release 23Dec2008	80963に同じ
												インフルエンザ	日本ウイルス学会第56回学術集会 2F05	90028に同じ
												鳥インフルエンザ	日本ウイルス学会第56回学術集会 3F03	90028に同じ
												エボラ出血	WHO/WER 2009; 84: 49-56	90001に同じ
263	2009/4/23	90132	デンカ生研	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	GL37細胞	アフリカミドリザルの腎細胞由来	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	原虫感染	日本寄生虫学会第64回西日本支部大会 32	昨年、新種のアメーバが分離され、Entamoeba nuttalliとして報告された。本原虫は動物実験で病原性を示し、Entamoeba spp.にE. histolytica以外の病原種の存在を示唆する知見である。インドネシアのカニクイザルの感染状況を調査した結果、糞便52検体中1検体で検出された。
264	2009/4/23	90133	塩野義製薬	テセロイキン(遺伝子組換え)インターフェロン ガンマ-1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	添加物	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/Health Protection Report 3(7) 2009年2月20日	1996年に血漿を提供し、その6ヵ月後にvCJDを呈したドナーの血漿由来の第8因子製剤を使用した血友病患者について、この度、検死によりvCJD感染が報告された。血漿分画製剤によるTSE伝播の可能性を示唆する初の報告である。
265	2009/4/23	90134	塩野義製薬	テセロイキン(遺伝子組換え)インターフェロン ガンマ-1a(遺伝子組換え)	カザミノ酸	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
266	2009/4/23	90135	塩野義製薬	テセロイキン(遺伝子組換え)インターフェロン ガンマ-1a(遺伝子組換え)	バグトリブリン	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ	製造工程	無	無	無			
267	2009/4/23	90136	塩野義製薬	テセロイキン(遺伝子組換え)インターフェロン ガンマ-1a(遺伝子組換え)	パングレアチン	ブタ臓器抽出物	アメリカ、カナダ	製造工程	無	無	無			
268	2009/4/23	90137	わかもと製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	中国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20080911.2845	げっ歯類を宿主とし、これまではヒトには感染しないと考えられていたcardiovirusがヒト糞便検体から検出されている。ヒト感染例が確認された3文献をまとめている。
												レプトスピラ症	ProMED-mail20080922.2984	スリランカにて2008年8月末までに報告されたレプトスピラ症は3,825例であり、死亡例は117例であった。9月20日までに症例数は4,500例、死亡例は150例に増加した。
												ベスト	ProMED-mail20081001.3094	中国林芝地区の朗泉において肺ベストに感染した2例が死亡した。症例は35歳男性と38歳の妻。
												細菌性胃腸炎	ProMED-mail20081229.4095	中国、Hubeiの学校で生徒81人が感染した腸チフスのアウトブレイクは制御されたと地元当局が2008年12月26日に発表。
												髄膜炎菌感染	ProMED-mail20090211.0621	髄膜炎菌性髄膜炎が流行・拡大しているパングラディッシュに国境を接しているインド北東部において2,000例を超える髄膜炎菌性髄膜炎が発生し、165例以上が死亡している。
269	2009/4/23	90138	わかもと製薬	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有	有	無	狂犬病	ProMED-mail20080826.2660	810131と同じ
												デング熱	ProMED-mail20080909.2821	フィリピン保健当局は、2008年1月から8月2日までにデング熱による死亡195例、症例19,658例が記録されたと9月1日に述べた。
												チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail20080923.3010	インドにおいてチクングニヤ症例が増加しており、2008年は現在までに70,740例(2007年:59,536例)に達している。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												デング熱	ProMED-mail2008092 9.3078	インドにおいてデング熱の発生率は減少しており、2007年の症例数5,634例、死亡数69例に対し、2008年は現在までに症例数2,808例、死亡数38例である。
												チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail2008101 4.3259	インドネシアのKepulauan RiauのPangkelにおいて村民5,200例はチクングニヤに感染し、またRiau ProvinceのHealth Serviceは、2008年10月13日時点で約300例がチクングニヤの影響を受けたと述べている。
												デング熱	N Engl J Med 359(14)1526-1527 Oct.2, 2008	90100に同じ
												鳥インフルエンザ	Wkly Epidemiol Rec 2008; 83: 357-364	2007年10-11月にパキスタンで発生したトリインフルエンザA(H5N1)の家族クラスターでは、25~32歳の兄弟3例が確定症例で、内1例が死亡し、2例は回復した。更に、同一家族内で感染可能性例1例、および無症候性の血清反応陽性例1例が検出された。1例目の症例のみが感染した家畜への接触歴があった。家族内での限定的なヒト-ヒト感染が発生したが、コミュニティへは拡大しなかった。
												コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail2008102 7.3392	パキスタンのChest病院にクリミア・コンゴ出血熱症例3例が入院した。なお、最近2ヶ月間にクリミア・コンゴ出血熱症例数十例が入院し3例が死亡している。当該地区における過去2年間のクリミア・コンゴ出血熱感染症例は約100例である。
												マラリア	ProMED-mail2008111 1.3553	インドのベンガル州保健当局によると、2008年8月29日までの報告では、25,109例がベクター媒介疾患に罹患し、そのうち1,476例が熱帯熱マラリアであったが、その後発表された正確なデータでは、41,223例がベクター媒介疾患に罹患し、そのうち4,781例が熱帯熱マラリアであった。
												HIV	Nature 2008; 455: 609-611	2007年10月、中国におけるHIV感染者は70万人を記録。以前は感染有病率は0.04~0.07%と低推移を示していたが、2006年以降は8%と増加し、雲南、新疆は4~6万人、広西、広東は3~4万人を記録している。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												マラリア	ProMED-mail20081114.3591	シンガポール、フィリピン、マレーシア、タイでの Plasmodium knowlesi 原虫感染によるヒトマラリア感染に関する論文が紹介されている。
												日本脳炎	ProMED-mail20081115.3609	インド当局は BRD Med. Coll. Hosp 及び隣接する地区の病院において最近24時間のうちに小児4例が脳炎により死亡し、死亡例の合計は447例になったと述べた。2008年11月14日、脳炎の新規疑い例が14例入院し、122例が脳炎疑いで加療されており、2008年11月以降、脳炎症例が2,426例記録されている。(ただし、日本脳炎の確定診断はなされていない)
												細菌感染	ProMED-mail20081120.3661	90017に同じ
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												B型肝炎C型肝炎	ProMED-mail20081201.3773	パキスタン Sindh 地方、Badin においてB型及びC型肝炎が増加している。Badin 及びその周辺の村では45%が罹患している。理由は、基本的な医療設備の不足、シリンジ使い回し、肝炎ウイルス検査無しの輸血と述べられている。
												デング熱	ProMED-mail20081207.3840	パキスタン、ラホールにおいて最近24時間にさらに17例がデング熱の診断を受けたと保健当局が述べた。ラホールにおけるアウトブレイクは継続しており、11月26日付 The Times によるとこれまでに1,149例が報告され、Punjab 州で報告された合計は1,219例である。
												チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail20081222.4028	マレーシア保健当局は、2008年マレーシア全域においてチクングニヤ疑い例が4,000例に上ったと12月17日に述べた。
												デング熱	ProMED-mail20090105.0041	インドネシア、東カリマンタンでは、2008年1～11月にデング熱で101例が死亡し、この死亡率(172/10万人・月)は国内平均(20/10万人・月)の8倍である。カンボジアでは、2008年のデング熱罹患患者数及び死亡者数は大幅に減少し、2008年の現在までの死亡例は65例(2007年:407例)、罹患患者数は9,300例(2007年:39,851例)である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												HIV	Lancet 2008; 372: 1791-1793	2007年、中国におけるHIV感染者70万人、AIDS発症者8万5千人と推定。
												チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail2009011 2.0125	2008年末のチクングニヤのアウトブレイク以降、moneragala地方から報告された患者数は1300例。スリランカ保健当局によると、アウトブレイク発生直後の数日間に300~400例/日の患者が発生し、流行地域で約3000例の患者が確認された。
												チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail2009011 4.0150	モルディブLaamu Atollの島々においてチクングニヤやデング熱のアウトブレイクが2008年12月頃から発生し、1,000人以上が罹患している。
												結核	ProMED-mail2009011 4.0151	81016に同じ
												デング熱	ProMED-mail2009011 9.0242	台湾において2008年1月1日~2009年1月6日の間に報告されたデング熱症例は1,419例であり、そのうち488例は検査で陽性であった。
												エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
												デング熱	ProMED-mail2009020 4.0487	シンガポール環境庁は、同国において2009年1月最初の3週間でデング熱感染症例509例が登録され、2008年同時期の症例数341例を超えていると報告。
												デング熱	ProMED-mail2009021 0.0603	マレーシアにおいて2009年の最初の5週間で国内のデング熱症例が倍増した。Selangorでは未だに症例数は多く、2009年2月6日時点で約6,623症例及び死亡18例が登録されている。
												デング熱	ProMED-mail2009021 6.0650	ベトナムでは2009年の現在までのデング熱症例は約3,000例と、前年同時期と比較して20.5%増加している。一方、タイでは2009年の現在までのデング熱症例は1,675例(死亡2例)であり、前年同時期(1,553例、死亡2例)に比べ若干増加している。
270	2009/4/24	90139	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	2008年プリオン 研究会 2008年8月 29-30日	81068に同じ
												クロイツフェル ト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェル ト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	孤発性CJD (sCJD)と医学的処置との関連性を 解明するために、日本における1999~2008年 の期間にCJDサーベイランス委員会に登録さ れた患者について分析した。その結果、sCJD 発症前に施行された医学的処置によりプリオン 病が感染した証拠はみつからなかった。
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Blood, Prepublished online 2008 年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	2008年プリオン 研究会 2008年8月 29-30日 ポ スター11	81068に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	2008年プリオン 研究会 2008年8月 29-30日 ポ スター18	81068に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068 と同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068 と同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	タミフル耐性型の「通常の」季節性インフルエンザが急速に拡大しており、南アフリカでは今年の冬(2008~2009年)のインフルエンザに効果がないおそれがある。WHOのデータによると同国でH1N1株に感染した107名に関する検査の結果、全員がタミフルに耐性の突然変異株を保有していた。2008年4月1日から8月20日に南半球の12カ国のH1N1インフルエンザ感染患者由来検体788例中242例(31%)がタミフル耐性に関係があるH274Y突然変異を有していた。
												ウイルス感染	BuaNews online 2008 年10月13日	南アフリカ、ヨハネスブルグで3名の死者を出したウイルスは、暫定的に西アフリカのラッサウイルスに近い、齧歯類媒介性アレナウイルスであると特定された。国立感染症研究所と保健省は共同で、このウイルスが体液を介してヒトからヒトに感染するため、「患者の看護に特別な予防的措置が必要である」との声明を発表した。3名の死因を確定するには更なる検査が必要である。
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	ナイジェリアでは、2008年1月から12月にかけて、229人のラッサ熱感染疑い患者が報告され、30人が死亡している。また、2008年12月~2009年1月に、感染疑い患者及び感染確定患者はそれぞれ60%及び80%増加している。
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	加熱及び高静水圧の物理的不活化処理法で4株のA型肝炎ウイルスの不活化を行ったところ、それぞれの処理はHAV感染性を3~5log10の範囲で低下させた。また、血液製剤のウイルス汚染に対する安全性を評価するのにもっとも適した株は、耐熱性のKRM238であった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	1971~2005年の35年間に虎ノ門病院に来院した急性HBV感染患者153名および慢性HBV感染患者4277名について5年間毎のHBVジェノタイプ/サブジェノタイプを調べた。急性感染患者数は35年間で増加し続けた。慢性感染患者は1986~1990年が最大であった。ジェノタイプは急性感染患者と慢性感染患者で大きく異なった(A、B、C型:28.6%、10.3%、59.5% vs 3.0%、12.3%、84.5%)。最近では外国のサブジェノタイプB2/Baが増加する傾向がある。
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	HBV DNA陽性かつ表面抗原(HBsAg)陰性オカルトHBV感染の検出感度を上げるために、HBV DNAとHBsAgを同時に濃縮する新規方法を開発した。二価金属存在下でpoly-L-lysineでコートした磁気ビーズを使用し、ウイルス凝集反応を増強させ、ウイルスを濃縮する方法により、HBV DNAとHBsAg量は、最高4~7倍に濃縮された。本方法により、EIAとHBV NATの感度が上昇し、HBsAg EIAを用いてオカルトHBV感染者40名のうち27名を検出することができた。
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	母親がHBsAg陰性かつ家族内に患者以外のHBVキャリアが存在する成人及び小児HBVキャリアである7家族を対象とし、HBV全遺伝子解析に基づく分子系統樹を用いて感染源を検索したところ、3家族で父親以外の感染源の可能性があり、祖母からの感染は分子疫学的に感染経路を証明できた。
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	ニューヨーク市のEast Harlemのクリニックから18歳以上で血中HCV PCR陽性の吸引用麻薬常習者38名の鼻汁検体および吸引に使用したストローを入手し、血液およびHCV RNAの存在の有無を調べた。鼻汁検体28例(74%)、ストロー3例(8%)から血液が検出され、鼻汁検体5例(13%)、ストロー2例(5%)でHCV RNAが検出された。HCVウイルスの鼻腔内伝播のウイルス学的妥当性が示された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												C型肝炎	第70回 日本血液学会総会 2008年10月10-12日	再生不良性貧血の54歳女性で、初回輸血前検査はHCV抗体陰性、HCVコア蛋白陰性であったが、複数回輸血後、HCVコア蛋白が陽性化したため、遡及調査を開始した。保管検体の個別NATIにより、1検体からHCV-RNAを検出した。患者と献血者のHCV Core-E1-E2領域の塩基配列が一致した。日本で20プールNAT導入後、初めて確認された輸血によるHCV感染症例である。
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	1999年7月～2008年3月までにNATで検出された111本のHCV-RNA陽性検体のGenotype解析の結果、Genotype 2aが最も多く、1bと2bがほぼ同数であった。
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	2005～2007年に北海道で実施したプールNATによるHEV-RNAスクリーニングの結果、献血者の約1/8,300はHEV-RNA陽性であった。ほとんどの献血者は動物内臓を摂取しており、無症候性であったが、ウイルス血症は数ヶ月間持続した。
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	日本全国でALT高値のため献血不適となった献血者の血液検体に、HEVマーカー(HEV-RNA及び抗HEV抗体)が認められ、いずれのマーカーとも東日本の法が西より高かった。
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	急性白血病の33歳の男性がE型肝炎を発症し、HEV遺伝子検査の結果、重複する時期に同じ病棟に入院していた別のE型肝炎患者から感染していたことが示唆された。
271	2009/4/24	90140	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	人血清アルブミン	人血清	日本	添加物	有	無	有	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139に同じ
												C型肝炎	第70回日本血液学会総会 2008年10月10-12日	90139に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
272	2009/4/24	90141	ベネシス	乾燥抗HBs人免疫グロブリン ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2008; 134: 757-768	810113に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	BSEプリオンに対するヒトの感受性についてSNPを解析した。PRNP遺伝子座はプリオン病のいくつかのマーカーと全てのカテゴリーを通じてリスクに強く関連していた。疾病リスクへの主な寄与はPRNP多型コドン129であったが、別の近傍のSNPによってvCJDのリスク増大がもたらされた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												コクシジオイデス症	GDC/MMWR 2009; 58: 105-109	カリフォルニア州におけるコクシジオイデス症の報告数及び入院数は2000~2006年の間毎年増加しており、1995~2000年の3倍以上(8/10万人)となった。米国のコクシジオイデス症全体の約60%を占めるアリゾナ州でも同様に、2006年には5,535例(91/10万人)と増加している。米国全体でも、1996年の1,697例から2006年には8,917例(6.97/10万人)に増加しており、流行地への訪問や居住歴のあるインフルエンザ様症状や肺炎、播種性感染症の患者では本症が鑑別されるべきである。
273	2009/4/24	90142	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	マウスモノクローナル抗体	マウス脾臓細胞と骨髄腫細胞のハイブリ	イギリス	製造工程	無	無	無			
274	2009/4/24	90143	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	ウサギIgG	ウサギ血液	日本	製造工程	無	無	無			
275	2009/4/24	90144	日本メジフィックス	放射性医薬品基準人血清アルブミン五酢酸テクネチウム(^{99m} Tc)注射液	人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム(^{99m} Tc)	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			
276	2009/4/27	90145	バイエル薬品	イットリウム(⁹⁰ Y)イブリツモマブチウキセタン(遺伝子組換え)注射液調整用インジウム(¹¹¹ I)イブリツモマブチウキセタン(遺伝子組換え)注射液調整用	ウシ乳加水分解物	ウシ乳	オーストラリア又はニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J. Hosp. Infect. 2009; 72: 65-70	新規のプリオン不活化法として、Bacillus lentus サブチリシン遺伝子を変異させて得られたアルカリプロテアーゼ:MC3の報告。MC3はプロテイナーゼKよりも高い分解能を示し、MC3消化の感染性マウス脳ホモジネート(iMBH)投与マウスの生存率は、非分解iMBH投与マウスと比較して極めて高かった。
277	2009/4/27	90146	バイエル薬品	インターフェロンベータ-1b(遺伝子組換え)イットリウム(⁹⁰ Y)イブリツモマブチウキセタンインジウム(¹¹¹ I)イブリツモマブチウキセタン	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物	有	無	無	ウイルス感染	PNAS 2008; 105: 14124-14129	新規ヒトカルジオウイルス7株についての報告。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	News-Medical.Net 2008 Dec 22	Amorfix Life Sciences社(カナダ)が開発した血漿中におけるvCJDプリオンタンパク質の検査法。脳ホモジネートを1/1,000,000まで希釈した検体を検出することに成功した。
												エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report 2009; 43: 78	90183に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J. Hosp. Infect. 2009; 72: 65-70	90145に同じ
278	2009/4/27	90147	バイエル薬品	オクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	PNAS 2008; 105: 14124-14129	90146に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	News-Medical.Net 2008 Dec 22	90146に同じ
												エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report 2009; 43: 78	90183に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J. Hosp. Infect. 2009; 72: 65-70	90145に同じ
279	2009/4/27	90148	バイエル薬品	オクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	PNAS 2008; 105: 14124-14129	90146に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	News-Medical.Net 2008 Dec 22	90146に同じ
												エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report 2009; 43: 78	90183に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J. Hosp. Infect. 2009; 72: 65-70	90145に同じ
280	2009/4/27	90149	バイエル薬品	オクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J. Hosp. Infect. 2009; 72: 65-70	90145に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
281	2009/4/27	90150	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	PNAS 2008; 105: 14124-14129	90146に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	News-Medical.Net 2008 Dec 22	90146に同じ
												エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report 2009; 43: 78	90183に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J. Hosp. Infect. 2009; 72: 65-70	90145に同じ
282	2009/4/27	90151	日本製薬	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分	有	無	無	B型肝炎	J Hepatol 2008; 48: 1022-1025	81039に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1368-1375	81038に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009 February 17, 2009	90183に同じ
												B型肝炎	Transfusion Med. 2008; 18: 379-381	日本における、不顕性HBV感染者(HBsAg陰性)からの輸血によるB型肝炎感染に関する報告。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
283	2009/4/27	90152	日本製薬	乾燥抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	B型肝炎	J Hepatol 2008; 48: 1022-1025	81039に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1368-1375	81038に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウィルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009 February 17, 2009	90183に同じ
												B型肝炎	Transfusion Med. 2008; 18: 379-381	90151に同じ
284	2009/4/27	90153	エーザイ	モンテプラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清	日本	添加物製造工程	無	無	無			
285	2009/4/27	90154	エーザイ	モンテプラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	オーストラリア、ニュージーランド、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグアイ(MCB)	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
286	2009/4/27	90155	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
287	2009/4/27	90156	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組み換え細胞	ベビーハムスターの腎臓	数10年前に樹立したマスターセルバンクに使用した細胞株のため原産国不明	製造工程	無	無	無			
288	2009/4/27	90157	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
289	2009/4/27	90158	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水	日本	製造工程	無	無	無			
290	2009/4/28	90159	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139に同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
													Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139に同じ
												C型肝炎	第70回 日本血液学会総会 2008年10月10-12日	90139に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
291	2009/4/28	90160	日本赤十字社	pH4処理酸性人免疫グロブリン	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	有	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139に同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
													Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-179	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-29	90139に同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139に同じ
												C型肝炎	第70回 日本血液学会総会 2008年10月10-12日	90139に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												巨型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139)と同じ
292	2009/4/28	90161	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	ミドリザル腎臓細胞	ミドリザル腎臓	日本	製造工程	有	無	無	黄熱	Trinidad&Tobago Express 2009 Jan 12	トリニダード・トバゴで多数のサル死亡が確認されている為、念のため黄熱ウイルスに対する予防接種を受けるよう呼びかけている。
												黄熱	Trinidad&Tobago Ministry of Health web 2009 Jan 19	トリニダード・トバゴ保健省は、森林で死亡して発見された2頭のサルの剖検の結果、黄熱ウイルスの感染が認められたことを報告した。過去に1988年、1995年、1999年にサルの黄熱感染が確認されているが、ヒトでの黄熱ウイルス感染はなかった。
293	2009/4/28	90162	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	ウシ血清	ウシの血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	中毒	ProMED 2009 Jan 17	メキシコ、Zapotlanejo市でクレンブテロールによる中毒と確定診断された患者9例が報告された。発生源の精肉店は直ちに閉鎖され、現在、ウシの肝臓の売買が禁止されている。2008年にも21人のクレンブテロール中毒が発生している。
												感染	ProMED 2009 Jan 29	ドイツで2008年前半より"Blood sweating disease"で仔牛が死亡している。原因は不明である。この疾患はドイツ各地で発生しており、ババリアでは40頭の症例が確認されている。ミュンヘン大学のclinic for ruminantsも同様の症例を報告している。主に、生後2~3週間の仔牛が感染している。
294	2009/4/28	90163	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	ラクトアルブミン	ウシの乳	ニュージーランド	添加物	有	無	無	中毒	ProMED 2009 Jan 17	90162)と同じ
												感染	ProMED 2009 Jan 29	90162)と同じ
295	2009/4/28	90164	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	トリプシン	ブタの膵臓	アメリカ・カナダ	製造工程	有	無	無	エボラ出血	http://www.aflartnet.org/thenews/newsdesk/SP222378.htm	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
												エボラ出血	GMA NEWS.TV 2009 Jan 30	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認された。サル以外で同ウイルスが確認されたのは初めてであり、ブタからヒトへの初の感染例である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												サルモネラ	GMA NEWS-TV 2009 Feb 2	フィリピン・サマル州において2008年12月以降ブタでサルモネラ感染が流行し、84頭が死亡、約772頭が罹患した。その他25頭が感染疑いでと殺された。2月9日現在、感染は制御されたと、同地域の農業省職員が述べた。
												中毒	BBC News 2009 Feb 23	中国でクレプトテロールに汚染された豚肉の摂取により、70人以上が発病した。豚肉は広東省・広州の市場から流通したもので湖南省の農家で飼育されたもの。
296	2009/4/28	90165	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	ウシ血清由来成分	ウシ血液	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
297	2009/4/28	90166	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	ウシ乳由来成分	ウシ乳	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
298	2009/4/28	90167	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	ヒトリンパ芽球細胞樹立株ナマルバ細胞	ヒト細胞	—	製造工程	無	無	無			
299	2009/4/28	90168	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	ヒツジ血清由来成分	ヒツジ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
300	2009/4/28	90169	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	加熱人血漿たん白	人血液	米国	添加物	無	無	無			
301	2009/4/28	90170	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	鶏卵由来成分	鶏卵	—	製造工程	無	無	無			
302	2009/4/28	90171	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	マウスハイブリドーマ由来モノクローナル抗体	マウス細胞	日本	製造工程	無	無	無			
303	2009/4/28	90172	CSL ベーリング	—	アプロチミン	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
304	2009/4/28	90173	CSL ベーリング	—	ヘパリン	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
305	2009/4/28	90174	CSL ベーリン グ	—	ウマコラーゲ ン	ウマ深部指 状屈筋腱	フランス、ド イツ、ベル ギー、イタ リア、オー ストリア、 米国、カナ ダ、ブラジ ル	支持体	無	無	無			
306	2009/4/28	90175	CSL ベーリン グ	—	トロンボブラ スチン	ウサギ脳	ニュージー ランド	製造工程	無	無	無			
307	2009/4/28	90176	CSL ベーリン グ	—	トロンピン画 分	ウシ血液	ニュージー ランド	製造工程	無	無	無			
308	2009/4/28	90177	CSL ベーリン グ	—	ヒトアルブミ ン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	添加物	有	無	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	1995年から3回/週でIVIG治療を受けていた61 歳女性は、1997年1月～1998年2月の期間に、 後にvCJDを発症した供血者由来の製剤を使用 していた。この女性の死亡後、剖検により脾 臓、リンパ節、脳内のプリオン蛋白を検査した が、検出されなかった。
309	2009/4/28	90178	CSL ベーリン グ	—	アンチトロン ピンⅢ	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	製造工程	有	無	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
310	2009/4/28	90179	CSL ベーリン グ	—	ヒトフィブリノ ゲン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	有効成分	有	無	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
311	2009/4/28	90180	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	Eurosurveillance 2008; 13: 1-2	アフリカ南部における初のアレナウイルス感染症例。ザンビアで発症した患者が南アフリカ・ヨハネスブルクに移送されたが発症10日後に死亡。移送した救急隊員1名及びヨハネスブルクで看護を担当した看護婦1名も約1週間の潜伏期間の後発症し死亡。
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
312	2009/4/28	90181	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	—	有効成分	無	無	無			
313	2009/4/30	90182	メルスモン製薬	胎盤絨毛分解物	胎盤絨毛分解物	ヒト胎盤	日本	有効成分	無	無	無			
314	2009/4/30	90183	バクスター	人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	1996年に血漿を提供し、その6ヵ月後にvCJDを呈したドナーの血漿由来の第8因子製剤を使用した血友病患者について、この度、検死によりvCJD感染が報告された。血漿分画製剤によるTSE伝播の可能性を示唆する初の報告である。
315	2009/5/1	90184	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	人血液	日本	有効成分	有	有	有	細菌感染	Am J Infect Control 2008; 36: 602	減量法として両耳の上部耳介軟骨に置き鍼治療(Stapling)を受けた16歳の女性が、2週間後に左耳の鍼周囲の紅斑および圧痛を呈した。膿瘍ドレナージ検体の培養および感受性試験の結果、両耳で著しい緑膿菌の生育が認められた。21日間の経ロシプロフロキサシン投与により回復した。外耳軟骨は、血流に乏しく特に感染しやすい。耳鍼が危険な緑膿菌感染を起こす可能性があることを医師は認識するべきである。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	米国。ルーチンの細菌培養スクリーニングを実施したプール血小板の輸血を受けた患者が、C群連鎖球菌感染症により死亡した。遡及調査の結果、無症候性の供血者が原因と考えられた。現在の検査法の限界を示す報告。
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	全血血小板の細菌汚染リスクを低減させるためには、初流血除去及び細菌培養によるスクリーニングが有効な方法であることを示す報告。
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	欧州における2006年の感染症の発生報告はクラミジアが最も多く、以下、ランブル鞭毛虫症、カンピロバクター症、サルモネラ症、結核、流行性耳下腺炎、淋病、C型肝炎、侵襲性肺炎球菌疾患、HIVの順であった。
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	2007年度のCBERに報告された供血後及び輸血後の死亡例概要。受血者76件、供血者17件の死亡報告。受血者死亡の内訳は、52件が輸血関連のもの、11件が輸血関連性否定できないもの、13件が輸血と関連しないものであった。
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008- 2	輸血を介したバベシア症死亡例の報告。1998年の1例以降しばらく無かったが、2006年1～10月にはFDAに5例が報告された。生物学的製品逸脱報告サマリーでは、過去10年間にバベシア症関連報告が68件あり、近年この報告が増加傾向にあることは、バベシア症伝播に係る輸血関連リスクが増加していることを示している。
												アメリカトリパノソーマ症	Transfusion 2008; 48: 1862-1868	スペイン、カタルーニャ血液銀行は、高リスク供血者におけるシャーガス病スクリーニング計画を施行し、供血者集団でTrypanosoma cruzi (T. cruzi) 感染の血清学的陽性率を調査した。その結果、全体の陽性率は0.62%(1770名中11名)で、最も陽性率が高かったのはボリビア人であった(10.2%)。陽性者11名中1名は、シャーガス病流行地域に数年間滞在したことのあるスペイン人であった。非流行国の高リスク供血者にT. cruziスクリーニング検査を実施する必要性がある。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	米国で2007年から開始された供血者に対する T. cruziスクリーニング検査の結果、2007年1月29日～2008年1月28日の陽性率は1/30,000であったが、受血者には明白な感染症例はなかった。最も陽性率が高い地域はフロリダ南部であった。
												マラリア	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1434-1436	2007年にマレー半島でフィンランドの旅行者が、通常はサルにおけるマラリアの原因となる二日熱マラリア原虫に感染した。二日熱マラリア原虫はヒトマラリアを引き起こす第5のマラリア原虫種として確立された。この疾病は生命を脅かす危険があり、臨床医と臨床検査技師は旅行者においてこの病原体を更に注意すべきである。
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	オーストラリア赤十字は2005年7月から、マラリア感染のリスクのある供血者に対し、従来の医療歴・渡航歴の収集から、リスクへの暴露を特定した時から最低4ヶ月間のマラリア抗体のスクリーニングを実施する代替戦略を導入した結果、既存の供血者に由来する輸血可能な製剤の製造効率は著しく向上し、輸血伝播マラリア症例の報告もなかった。
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	1997年より韓国軍はヒドロキシクロロキン及びプリマキンを用いた予防的化学療法を実施し、マラリア患者の急増を防ぐことができたが、調査登録患者484名中2名にクロロキン耐性 Plasmodium vivaxを確認した。
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068 と同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139 と同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139 と同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139 と同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139 と同じ
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139 と同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	90139 と同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139 と同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139 と同じ
												C型肝炎	第70回 日本血液学会総会 2008年10月10-12日	90139 と同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139 と同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
316	2009/5/1	90185	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	有	有	細菌感染	Am J Infect Control 2008; 36: 602	90184に同じ
												レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	90184に同じ
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	90184に同じ
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	90184に同じ
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-2	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	Transfusion 2008; 48: 1862-1868	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	90184に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												マラリア	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1434-1436	90184に同じ
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	90184に同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	90184に同じ
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139に同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
													Vox Sanguinis 2009; 96: 14-	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139に同じ
												C型肝炎	第70回 日本血液学会総会 2008年10月10-12日	90139に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
317	2009/5/11	90186	東和薬品	ウリナスタチンの注射液	ウリナスタチン	ヒト尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	ニパウイルス	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1974-1976	中国で2004~2007年に自然生息のコウモリを捕獲し、血清、咽頭、糞便におけるニパウイルス遺伝子及び糖タンパクの検出を行った。その結果、692標本中33標本(23匹中9匹)で陽性を示した。特に、雲南省からのホオヒゲコウモリの抗体が突出していた。
318	2009/5/15	90187	ウイス	ポリフィマーナトリウム	ポリフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO/EPR 2009年3月31日	90056に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
319	2009/5/20	90188	富士フイルムRIファーマ	テクネチウム人血清アルブミン(⁹⁹ mTc)	テクネチウム人血清アルブミン(⁹⁹ mTc)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2009; 58: 4-7	米国ウエストバージニアで妊婦における初めてのラクロス脳炎ウイルス(LACV)感染が見つかり、その後、分娩時の臍帯血からLACV抗体が検出され垂直感染が疑われたが、出生後6ヶ月までLACV感染兆候は見られていない。親が子の血清検体採取を拒否しており感染は確定できていない。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												黄熱	ProMED-mail20090402.1217	サンパウロ奥地において2009年2月より黄熱が流行しており、その中で母子感染が確認された。初の黄熱の母子感染報告である。
320	2009/5/22	90189	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	血液凝固第IX因子	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
321	2009/5/22	90190	ベネシス	トロンピン	トロンピン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
322	2009/5/22	90191	ベネシス	乾燥人フィブリノゲン	凝固性たん白質	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Lancet Neurology 2009; 8: 57- 66	90141に同じ
												コクシジオイデ ス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
323	2009/5/22	90192	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	人血液	米国	有効成分	有	有	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Lancet Neurology 2009; 8: 57- 66	90141に同じ
												コクシジオイデ ス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
324	2009/5/22	90193	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Lancet Neurology 2009; 8: 57- 66	90141に同じ
												コクシジオイデ ス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
325	2009/5/22	90194	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	ヘミン	ウシ	米国及び製造時にBSE問題のない国	製造工程	無	無	無			
326	2009/5/22	90195	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
327	2009/5/25	90196	化学及血清療法研究所	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20081028.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
328	2009/5/27	90197	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	人血液	日本	有効成分	有	無	無	B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009 February 17, 2009	90183に同じ
												B型肝炎	Transfusion Med. 2008; 18: 379-381	90151に同じ
329	2009/5/27	90198	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009 February 17, 2009	90183に同じ
												B型肝炎	Transfusion Med. 2008; 18: 379-381	90151に同じ
330	2009/5/27	90199	田辺三菱製薬株式会社	肺サーファクタント製剤	サーファクタント	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分	無	無	無			
331	2009/5/27	90200	サノフィアベンティス	エノキサパリンナトリウム	ヘパリンベンジルエステル	ブタ腸粘膜	アメリカ、カナダ、フランス、ドイツ、ベルギー、オランダ及びオーストリア	有効成分	無	有	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
332	2009/5/28	90201	大塚製薬	インターフェロン ガンマー-n1	インターフェロン ガンマー-n1	ヒトミエロモノサイト細胞株	アメリカ	有効成分	無	無	無			
333	2009/5/28	90202	大塚製薬	インターフェロン ガンマー-n1	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	添加物	無	無	無			
334	2009/5/28	90203	大塚製薬	インターフェロン ガンマー-n1	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
335	2009/5/28	90204	大塚製薬	インターフェロン ガンマー-n1	ハムイスター(ヒトミエロモノサイト細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	無			
336	2009/5/28	90205	大塚製薬	インターフェロン ガンマー-n1	抗IFN-γモノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無			
337	2009/5/28	90206	大塚製薬	インターフェロン ガンマー-n1	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
338	2009/5/28	90207	ジェンザイム・ジャパン	ラロニダーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	米国、カナダ、メキシコ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
339	2009/5/28	90208	ジェンザイム・ジャパン	ラロニダーゼ(遺伝子組換え)	ラロニダーゼ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	宿主細胞系は、Donald Wiley(UCSD大学)及びJames paulson(UCLA大学)	有効成分	無	無	無			
340	2009/5/28	90209	ジェンザイム・ジャパン	ラロニダーゼ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ膵臓	米国・カナダ	製造工程	無	無	無			
341	2009/5/28	90210	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	赤血球	ヒト血液	米国	製造工程	無	無	無			
342	2009/5/28	90211	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	ウサギ血清	フランス、ベルギー	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
343	2009/5/28	90212	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	胸腺細胞	ヒト胸腺	米国、カナダ、スウェーデン、スロバキア、チェコ、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、ポーランド、リトアニア、ベルギー	製造工程	無	無	無			
344	2009/5/28	90213	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	マウスモノクロナール抗体	—	有効成分	無	無	無			
345	2009/5/28	90214	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	フランス、オーストリア、ドイツ	製造工程	無	無	無			
346	2009/5/28	90215	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	スイス	製造工程	無	無	無			
347	2009/5/28	90216	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
348	2009/5/28	90217	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓抽出物	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
349	2009/5/28	90218	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシペプトン	ウシの皮及び骨由来ゼラチン	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
350	2009/5/28	90219	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシトリプトン	ウシの乳及びブタの膵臓由来酵	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
351	2009/5/28	90220	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ブタカルボキシペプチダーゼ	ブタの膵臓	アメリカ	製造工程	無	無	無			
352	2009/5/28	90221	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシTPCK処理トリプシン	ウシの膵臓	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
353	2009/5/28	90222	ワイス	エタネルセプト(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明	製造工程	有	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
354	2009/5/28	90223	ウイス	エタネルセプト(遺伝子組換え)	ウシトランスフェリン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	CIFA report 2009-04-09	カナダにおいて15頭目のウシ海綿状脳症(BSE)の報告。
355	2009/5/28	90224	ウイス	エタネルセプト(遺伝子組換え)	仔ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程	有	無	無	BSE	CIFA report 2009-04-09	90223に同じ
356	2009/5/29	90225	東レ	—	インターフェロン ベータ	ヒト線維芽細胞	日本	有効成分	無	無	無			
357	2009/5/29	90226	東レ	—	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	無	無	無			
358	2009/5/29	90227	東レ	—	乳糖水和物	ウシ乳	オランダ、ドイツ、ベルギー及びブルクセンブルク	添加物	無	無	無			
359	2009/5/29	90228	東レ	—	ウシ血清	ウシ血液	オーストラリア及びニュージーランド	製造工程	無	無	無			
360	2009/5/29	90229	東レ	—	トリプシン	ブタ膵臓抽出物	アメリカ合衆国及びカナダ	製造工程	無	無	無			
361	2009/5/29	90230	メルクセローノ株式会社	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	人尿	韓国	有効成分	無	無	無			
362	2009/5/29	90231	メルクセローノ株式会社	ホリトロピン アルファ(遺伝子組換え)	ホリトロピン アルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター細胞株	不明	製造工程	無	無	無			
363	2009/5/29	90232	メルクセローノ株式会社	ホリトロピン アルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	1) マスターセルバンク(米国)、2) ワーキングセルバンク(米国)	製造工程	有	無	無	結核	ProMED-mail20090215.0644	米国インディアナ州Board of Animal Health (BOAH) は、州南部のウシの群におけるウシ結核症例1例について調査を行っている。
												結核	ProMED-mail20090220.0724	米国ミネソタ州Board of Animal Health (BOAH) は、2008年12月3日にBeltrami Countyのウシの群の3頭がウシ結核陽性であったと発表した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												結核	ProMED-mail20081208.3856	米国ミネソタ州ノースダコタは1976年以降ウシ結核フリーであったが、今般、ウシ結核の発生を受けて調査が行われている。
												狂犬病	ProMED-mail20090215.0644	Charlotte酪農場においてウシ2頭が2009年2月9日及び10日に狂犬病によって死亡した。農場のイヌに殺されたアライグマから感染した可能性がある。また、East Valley Middle School近くのネコ1匹において狂犬病症例を確認した。
												狂犬病	ProMED-mail20090220.0724	米国、Linville付近の農場のウシ3頭が狂犬病に感染していた。また、この農場で発見されたアライグマも狂犬病に感染していた。
												狂犬病	ProMED-mail20090410.1383	米国バーモント州の農場でウシ5頭が狂犬病検査陽性であったことを受けて、当局はウシのワクチン接種を行うよう農場主に呼びかけている。
												狂犬病	ProMED-mail20090418.1470	米国ノースカロライナ州の農場で、2009年4月6～10日の週に仔牛1頭が狂犬病に感染し死亡した。Rowan Countryにおいて2009年5例目の症例である。
364	2009/5/29	90233	メルクセローノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	C127細胞株(マウス細胞)	マウス細胞	米国	製造工程	無	無	無			
365	2009/5/29	90234	メルクセローノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	1) マスターセルバンク(不明)、2) ワーキングセルバンク(米国)	製造工程	有	無	無	結核	ProMED-mail20090215.0644	米国インディアナ州Board of Animal Health (BOAH)は、州南部のウシの群におけるウシ結核症例1例について調査を行っている。
												結核	ProMED-mail20081207.0101	米国ミネソタ州のBeltrami Countyにおいて、ウシ結核が3頭で確認された。
												結核	ProMED-mail20081208.3856	90232に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												狂犬病	ProMED-mail20090215.0644	90232に同じ
												狂犬病	ProMED-mail20090220.0724	90232に同じ
366	2009/5/29	90235	メルクセロノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	米国	製造工程	有	無	無	インフルエンザ	ProMED-mail20081125.3715	90080に同じ
												インフルエンザ	CDC/MMWR 2008; 57: 1329-1332	米国テキサス州で、2008年10月にブタインフルエンザA(H1N1)に感染したヒト症例1例(14歳)が報告された。当該症例は回復している。
												インフルエンザ	CDC Weekly Report/flu summary update 2009 Mar 6	米国アイオワ州で、2009年2月22~28日に、ブタインフルエンザA(H1N1)のヒトへの感染例が1例報告された。
												ブドウ球菌感染	ProMED-mail20090126.0348	90057に同じ
367	2009/6/2	90236	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	無	有	細菌感染	Am J Infect Control 2008; 36: 602	90184に同じ
												レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	90184に同じ
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	90184に同じ
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	90184に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal08.pdf	2005～2008年度のCBERに報告された供血後及び輸血後の死亡例概要。2008年度は、受血者72件、供血者10件の死亡報告。受血者死亡の内訳は、46件が輸血関連もの、8件が輸血関連性否定できないもの、18件が輸血と関連しないもの。微生物感染はバベシア症5件、Staphylococcus aureus、Staphylococcus epidermidisがそれぞれ1件。05～08年度の微生物感染28件中、10件をバベシア症が占めている。
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-2	90184に同じ
												バベシア症	2009 Feb 23; New York City, Department of Health	2008年9月以降の6ヶ月間、ニューヨーク市において輸血関連バベシア症の報告急増。市衛生局は医療従事者に対し、3ヶ月以内に輸血又は臓器移植の既往歴があり、発熱/溶血性貧血を呈する患者の鑑別診断にバベシア症を考慮するよう勧告した。
												アメリカ・トリパノソーマ症	Transfusion 2008; 48: 1862-1868	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	90184に同じ
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	90184に同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	90184に同じ
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005 と同じ
												ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068 と同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068 と同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068 と同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068 と同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139 と同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	米国。輸血のCJD伝播リスクについて。後にCJD発症した供血者36例と受血者436例を調査。受血者のうち生存91例、死亡329例、不明16例。受血後にCJDを発症した例は特定されず。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013 と同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068 と同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	最近、非定型BSEが日本、カナダ、米国、複数のヨーロッパ諸国で発生している。非定型BSEの可能性のあるプリオン遺伝子の突然変異は豪州や新西蘭でも発生する可能性があり、反芻動物の厳密な飼料管理等、将来のアウトブレイクの防止に必要な規制を緩和すべきではない。
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-17	90139に同じ
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	日本の首都圏において、HBVの中でも慢性化率の高いgenotypeAは急速に増加しており、新規日本人キャリアからの二次感染が疑われることが急性B型肝炎症例の検討から明らかになった。
												C型肝炎	第70回日本血液学会総会 2008年10月10-12日	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
368	2009/6/11	90237	ワイス	ゲムツスマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ヒトγグロブリン	ヒト血液	フィンランド、スウェーデン	製造工程	有	無	無	細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												黄熱	ProMED-mail20090402.1217	90188に同じ
369	2009/6/11	90238	ワイス	ゲムツスマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程	有	無	無	細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												黄熱	ProMED-mail20090402.1217	90188に同じ
370	2009/6/11	90239	ワイス	ゲムツスマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	有	無	無	BSE	CIFA report 2009-04-09	90223に同じ
371	2009/6/11	90240	ワイス	ゲムツスマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ペプトン	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	CIFA report 2009-04-09	90223に同じ
372	2009/6/11	90241	ワイス	ゲムツスマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	加水分解カゼイン	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	CIFA report 2009-04-09	90223に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
373	2009/6/11	90242	ワイズ	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	ニュージーランド、米国	製造工程	有	無	無	BSE	CIFA report 2009-04-09	90223に同じ
374	2009/6/11	90243	ワイズ	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	CIFA report 2009-04-09	90223に同じ
375	2009/6/11	90244	ワイズ	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	コレステロール	ヒツジ毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	ProMED-mail20090220.0714	ニュージーランドのヒツジにおいて非定型スクレイパーを確認したとの報告。英国へ送られた研究用のヒツジの群の2匹とその2匹の子として生まれた雌ヒツジ。
376	2009/6/11	90245	ワイズ	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	マウス骨髄腫由来NSO細胞	マウス骨髄腫	不明	製造工程	無	無	無			
377	2009/6/15	90246	田辺三菱製薬株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射剤	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター	米国	製造工程	無	無	無			
378	2009/6/15	90247	田辺三菱製薬株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射剤	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
379	2009/6/15	90248	田辺三菱製薬株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射剤	ペプトン	ウシ胆汁、結合組織、皮膚、骨(頭蓋骨、せき髄を含まない。せき柱骨を含む可能性がある。)に由来するペプトン	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
380	2009/6/18	90249	ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												インフルエンザ	MMWR 2009; 58: 1-3	2009/4/17米CDCはカリフォルニア南部の小児2例の熱性呼吸器疾患をブタインフルエンザA(H1N1)感染であると特定した。アマンダジン、リマンダジンに抵抗性があり、過去に報告されていない固有の遺伝子断片の組み合わせが含まれていた。ブタ接触歴は無く感染源は不明。
381	2009/6/18	90250	ベネシス	ウロキナーゼ注射剤	人血清アルブミン	人血清	米国	添加物	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												インフルエンザ	MMWR 2009; 58: 1-3	90249に同じ
382	2009/6/18	90251	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	有	有	レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	90184に同じ
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	90184に同じ
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	90184に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal08.pdf.	902361と同じ
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-2	901841と同じ
												バベシア症	2009 Feb 23; New York City, Department of Health	902361と同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	901841と同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	Emerg Infect Dis 2009; 15:653-655	ブラジルで2006年1~11月に発生したアメリカ・トリパノソーマ症のアウトブレイク(178症例)について、調査の結果、アサイー果実を潰す際に、原虫を媒介するサンガメの排泄物が混入した可能性が考えられた。
												アメリカ・トリパノソーマ症	ProMED-mail20090406.1328	ベネズエラでグアヴァジュースの摂取によるアメリカ・トリパノソーマ症のアウトブレイクが発生し、同学校に通う児童47名と教師3名が感染。児童3名が死亡。
												アメリカ・トリパノソーマ症	CBER (http://www.fda.gov/cber/gdlns/chagas.htm)	CBERから、輸血用全血、血液成分製剤、ヒト細胞・組織及びヒト細胞・組織由来製剤のTrypanosoma cruziが伝播する危険性を低減するための血清学的検査実施についてのガイダンス案を公表。
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	901841と同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	901841と同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												ウエストナイルウイルス	CDC(http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	2008年、米国におけるウエストナイルウイルス感染症例は46州から1356例が報告され、うち687例では脳炎や髄膜炎を発症、死亡に至ったのは44例だった。
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	90236に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090108.0076	英国CJDサーベイランスユニットの統計によると、2009年1月5日時点でvCJD死亡患者数総数には変化はなく167例のままであり、英国におけるvCJD流行は減少しつつあるとする見解に一致する。
												BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbruh.htm.)	1987年以前から2008年までに、英国から国際獣疫事務局(OIE)に報告されたBSEの報告である。
												BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbm onde.htm.)	1989年から2008年までに、世界各国(英国を除く)から国際獣疫事務局(OIE)に報告されたBSEの報告数である。
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	中国のブタからヒト様H1N1インフルエンザウイルスが検出され、ブタがヒトにおけるパンデミックを引き起こす古典的なインフルエンザウイルス保有宿主である証拠が示された。
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90236に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
383	2009/6/18	90252	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊液	人血液	日本	有効成分	有	有	有	レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	90184に同じ
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	90184に同じ
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal08.pdf	90236に同じ
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-2	90184に同じ
												バベシア症	2009 Feb 23; New York City, Department of Health	90236に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	Emerg Infect Dis 2009; 15:653-655	90251に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	ProMED-mail20090406.1328	90251に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	CBER (http://www.fda.gov/cber/gdlns/chagas.htm)	90251に同じ
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	90184に同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	90184に同じ
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												ウエストナイルウイルス	CDC(http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90251に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090108.0076	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbruh.htm.)	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbm onde.htm.)	90251に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90251に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
													Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90236に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
384	2009/6/18	90253	日本赤十字社	—	合成血	人血液	日本	有効成分	有	無	有	レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	90184に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	90184に同じ
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal08.pdf	90236に同じ
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-2	90184に同じ
												バベシア症	2009 Feb 23; New York City, Department of Health	90236に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	Emerg Infect Dis 2009; 15:653-655	90251に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	ProMED-mail20090406.1328	90251に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	CBER (http://www.fda.gov/cber/gdlns/chagas.htm)	90251に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	90184に同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	90184に同じ
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												ウエストナイルウイルス	CDC(http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90251に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	902361に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	900681に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	902361に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	901771に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090108.0076	902511に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbruh.htm.)	902511に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbm onde.htm.)	902511に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	810681に同じ
												インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	902511に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	901391に同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-	901391に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90236に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPQ 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
385	2009/6/18	90254	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有	無	有	ウエストナイルウイルス	CDC(http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90251に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090108.0076	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm.)	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbm onde.htm.)	90251に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90251に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90236に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
												レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	90184に同じ
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	90184に同じ
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal08.pdf	90236に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-2	90184に同じ
												バベシア症	2009 Feb 23; New York City, Department of Health	90236に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	Emerg Infect Dis 2009; 15:653-655	90251に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	ProMED-mail20090406.1328	90251に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	CBER (http://www.fda.gov/cber/gdlns/chagas.htm)	90251に同じ
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	90184に同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	90184に同じ
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
386	2009/6/18	90255	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	CDC(http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90251に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090108.0076	90251に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm .)	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbm_onde.htm .)	90251に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90251に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90236に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
387	2009/6/18	90256	バイオ ジェン・ア イデック・ ジャパン	インターフェロン ベータ-1a(遺 伝子組換え)	ウシ胎児血 清	ウシ胎児血 液	米国	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA(2009- 04-09)	カナダで15頭目のBSE牛の確認。当該牛は 94ヶ月齢のホルスタイン乳牛。一緒に飼育され た187頭のうち22頭は当該農場で生存しており 屠殺処分された。122頭は既に死亡、屠殺を確 認。24頭は死亡あるいは屠殺と推定され、5頭 は輸出されている。14頭は記録不足により追 跡不可能。
388	2009/6/18	90257	バイオ ジェン・ア イデック・ ジャパン	インターフェロン ベータ-1a(遺 伝子組換え)	ウシトランス フェリン	ウシ血液	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA(2009- 04-09)	90256に同じ
389	2009/6/18	90258	バイオ ジェン・ア イデック・ ジャパン	インターフェロン ベータ-1a(遺 伝子組換え)	ウシインスリ ン	ウシ脾臓抽 出物	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA(2009- 04-09)	90256に同じ
390	2009/6/19	90259	ジェンザ イム・ ジャパン	イミグルセラーゼ(遺伝子組換 え)	イミグルセ ラーゼ(遺伝 子組換え)	遺伝子組 換えチャイ ニーズハム スター卵巣 細胞	宿主細胞 系は Dr.L.A.Cha sin(Columb ia University) より入手し たジヒドロ	有効成分	無	無	無			
391	2009/6/19	90260	ジェンザ イム・ ジャパン	イミグルセラーゼ(遺伝子組換 え)	ウシ胎児血 清	ウシ胎仔血 液	米国、カナ ダ	製造工程	無	無	無			
392	2009/6/19	90261	ジェンザ イム・ ジャパン	イミグルセラーゼ(遺伝子組換 え)	ドナー仔牛血 清	ドナー仔牛 血液	ニュージ ーランド	製造工程	無	無	無			
393	2009/6/22	90262	サノフィ パスツ ール第 一三共 ワクチ ン	黄熱ワクチン	発育鶏胚	発育鶏卵	米国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
394	2009/6/23	90263	持田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FEBS Letters 2008; 582: 3161-3166	81005に同じ
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												エボラ出血	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000212	81005に同じ
												ハンセン病、らい腫型	Eurek Alert November 24, 2008	90100に同じ
												細菌感染	日本感染症学会西日本地方会学術集会 第78回 2008年12月5-6日 063	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	81005に同じ
												レトロウイルス	日本ウイルス学会第56回学術集会 2P111	9010iに同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MHLW(平成21年4月28日健感発0428003号)	メキシコや米国で発生している豚インフルエンザ(H1N1)を、感染症法に規定する「新型インフルエンザ」と位置づける。
395	2009/6/24	90264	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Penicillium luteum	—	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
396	2009/6/24	90265	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Cladosporium cladosporioides	—	有効成分	無	無	無			
397	2009/6/24	90266	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	—	有効成分	無	無	無			
398	2009/6/24	90267	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	—	有効成分	無	無	無			
399	2009/6/24	90268	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	—	有効成分	無	無	無			
400	2009/6/24	90269	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	—	有効成分	無	無	無			
401	2009/6/24	90270	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Alternaria kikuchiana	—	有効成分	無	無	無			
402	2009/6/24	90271	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Aspergillus fumigatus	—	有効成分	無	無	無			
403	2009/6/25	90272	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分層	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20090129-0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	2009年4月、南カリフォルニア周辺郡の小児2人がブタインフルエンザA(H1N1)ウイルスに感染した。2症例から検出されたウイルスは、米国やそれ以外の国でも報告されたことがないブタ又はヒトインフルエンザウイルスの遺伝子片を併せ持っていた。いずれの小児もブタとの接触はなく、感染源は不明である。
404	2009/6/25	90273	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン	ブタ胃粘膜	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90272に同じ
405	2009/6/25	90274	化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物・製造工程	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20090129-0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90272に同じ
406	2009/6/26	90275	バクスター	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
407	2009/6/26	90276	バクスター	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
408	2009/6/26	90277	アンジェスMG株式会社	ガルスルファーゼ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	ATOCから入手したCHOセルラインをマスターセルバンクに使用した細胞株	製造工程	無	無	無			
409	2009/6/26	90278	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え) エポエチンアルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
410	2009/6/26	90279	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え) エポエチンアルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	米国	製造工程	無	無	無			
411	2009/6/26	90280	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウシの胆汁、結合組織、皮膚、骨(頭蓋骨、せき髄を含まない。せき柱骨を含む可能性がある。)に由来するペプトン	米国	製造工程	無	無	無			
412	2009/6/26	90281	協和醗酵キリン	ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	乳糖	ウシ乳由来の乳糖	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
413	2009/6/26	90282	協和醗酵キリン	エポエチンアルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ臓由来トリブシン	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	エボラ出血	OIE (December 23, 2008)	2007~2008年フィリピンの養豚場でブタの死亡率が上昇し、政府が調査をした結果、2008年10月にブタでエボラレストンウイルス及びブタ繁殖・呼吸器障害症候群(PRRS)ウイルス強毒性株の感染が確認された。エボラレストンウイルスのブタへの感染を示す初の報告。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年3月31日	900561と同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20081125.3715	900801と同じ
												インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 369-374	新規のインフルエンザAウイルスに関して、2009年2月28日にアイオワ州からブタインフルエンザA(H1N1)の3歳男児への感染例が報告された。ブタへの密接な接触が確認されている。男児は回復している。米国における今シーズン3例目のブタインフルエンザ感染例である。
												新型インフルエンザ(H1N1)	WHO/EPR 2009年5月21日	2009年5月21日現在の世界における新型インフルエンザ(H1N1)感染状況。41カ国、11034例(死亡85例)が確定されている。
414	2009/6/30	90283	シェリング・プラウ	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
415	2009/6/30	90284	シェリング・プラウ	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	ウシトランスフェリン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
416	2009/6/30	90285	シェリング・プラウ	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	原産国不明(ATCC登録株)	製造工程	無	無	無			
417	2009/6/30	90286	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	米国	製造工程	無	無	無			
418	2009/6/30	90287	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	D-ガラクトース	ウシ母乳	米国		無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
419	2009/6/30	90288	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	フェソシン	ウシ血清由来	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
420	2009/7/9	90289	株式会社ポーラファルマ	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	無	無	無			
421	2009/7/9	90290	株式会社ポーラファルマ	トロンピン	トロンボプラスチン	ブタ肺	デンマーク	製造工程	無	無	無			
422	2009/7/10	90291	富士製薬工業	精製下垂体性腺刺激ホルモン	精製下垂体性腺刺激ホルモン	更年期婦人の抽出物	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO 2009年1月19日	90017に同じ
												HIV	Retrovirology 2008; 5:	90017に同じ
												レンサ球菌感染	日本感染症学会総会学術集会 第83回 0-173	Streptococcus Dysgalactiae subsp. Dysgalactiaeに起因した、劇症型A群連鎖球菌感染症(STSS)を伴う壊死性筋膜炎症例の報告。ヒトにおける初の感染報告である。
												新型インフルエンザ(H1N1)	WHO/WER 2009; 84: 173-184	新型インフルエンザ(H1N1)が発生し、警戒レベルは2009年4月29日にフェーズ5まで引き上げられた。5月12日時点では、30カ国、5251例の感染例がWHOに報告されている。
												ウイルス性脳炎	ProMED-mail20090515.1821	ヒトにおける初のシカダニウイルス感染例の報告(出典NEJM)。ニューヨークの62歳男性がシカダニウイルスに感染したシカダニの咬傷を受けた後、髄膜炎で死亡した。
423	2009/7/10	90292	富士製薬工業	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO 2009年1月19日	90017に同じ
												HIV	Retrovirology 2008; 5:	90017に同じ
												レンサ球菌感染	日本感染症学会総会学術集会 第83回 0-173	90291に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												新型インフルエンザ(H1N1)	WHO/WER 2009; 84: 173-184	90291に同じ
												ウイルス性脳炎	ProMED-mail20090515.1821	90291に同じ
424	2009/7/10	90293	富士製薬工業	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	ブタの腸粘膜	中国、EU	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
425	2009/7/10	90294	富士フィルムRIファーマ	テクネチウム大擬集人血清アルブミン(99Tc)	テクネチウム大擬集人血清アルブミン(99mTc)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2009; 58: 4-7	90188に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												黄熱	ProMED-mail20090402.1217	90188に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	2008年に南アで発生した致死性出血熱のアウトブレイクにおいて、30年ぶりに新規の旧世界アレナウイルスが分離された。発見された地名(Lusaka, Johannesburg)より、Lujo virusと命名された。
426	2009/7/13	90295	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90272に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009年5月16日	兵庫県神戸市における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が疑われる患者発生についての報告。国内最初の新型インフルエンザ患者が確認された。患者は10代後半の男性。本人に渡航歴はない。国立感染症研究所からの検査の結果、A型(+)、ヒトH1(-)、ヒトH3(-)、新型H1(+)であったため、新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が否定せず、新型インフルエンザが疑われる患者として神戸市に届出があった。患者は感染症法に基づき、神戸市内の感染症指定医療機関に入院した。
427	2009/7/16	90296	シェリング・プラウ	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	ブタインスリン	ブタ臓臓抽出物	原産国不明(米国薬局方及びヨーロッパ薬局方適合品)	製造工程	有	無	無	エボラ出血	WHO Disease Outbreak News 2009年3月31日	2009年2月16日、フィリピン政府からの発表によると、豚に日常的に接触のある処理施設の労働者1例にEbola Reston virus(ERV)抗体に陽性反応が認められた。これにより6例が、2008年12月の検査開始以降、フィリピン国内でERV抗体陽性となった。この6例すべてが仕事で豚に触れている。フィリピン保健当局は、陽性反応を示した6例すべては健康であり、ブタからヒトへの移行が感染源として最も可能性が高いとしている。
												新型インフルエンザ	CDC/NMWR 58(17):470-472 2009年5月8日	2009年4月24日、CDCはテキサス州とカリフォルニア州にて、ブタインフルエンザA(H1N1)ウイルス感染確定症例8例を報告した。米国患者から同定されたウイルスはメキシコ患者のものと同様に類似していると確認された。4月24日移行、米国およびその他の国々においてブタインフルエンザA(H1N1)ウイルス感染症例は増加し続け、4月28日時点の米国症例の約半数(45例)はニューヨーク市の高校生と職員であった。
428	2009/7/17	90297	CSL ベーリンゲ	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
429	2009/7/17	90298	CSL ベーリン ゲ	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	乾燥濃縮人 アンチトロン ビンⅢ	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	810521に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	901831に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	901771に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CBER 2009年4月30日	新型インフルエンザ(H1N1)の輸血を介した感染可能性について。輸血により季節性インフルエンザに感染した例はこれまで報告されたことが無く、新型インフルエンザについても報告されていない。現時点で、輸血のメリットは新型インフルエンザの理論的リスクをはるかに上回る。なお、血漿分画製剤については製造工程におけるクリアランスが十分であることが確認されている。
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion; 49(5): 977-984	米国での調査研究の結果は、輸血によるCJD伝播については根拠に欠けるとしている。2004年以降、英国ではvCJDの輸血による伝播が報告され、変異型でないCJDもしくは古典的CJDの伝播のリスクについて懸念が高まってきた。1995年、米国赤十字社はCDCと共同で輸血によるCJD伝播の懸念を評価する詳細な疫学的データを得るために、供血後にCJDと診断された供血者(CJDドナー)の長期後ろ向き調査を開始し、CJDドナーの血液成分を投与された受血者を特定した。本結果からは、CJDの輸血による伝播を示す根拠は示されなかった。CJDドナーによる異常プリオンの輸血伝播のリスクは、vCJDドナーによる伝播のリスクと比べて顕著に低いことを後押しする結果となった。
430	2009/7/22	90299	味の素	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナ トリウム	健康なブタの腸粘膜	ブラジル	有効成分	有	無	無	エボラ出血	OIE (December 23, 2008)	902821に同じ
												エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	フィリピンマニラの農場で2008年10月にブタで始めてエボラレストンウイルスが確認され、2009年1月には当該農場の労働者少なくとも1名で抗体陽性を示した。同ウイルスのブタからヒトへの感染を示す初の報告。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
												新型インフルエンザ	WHO/EPR 2009年4月24日, 2009年4月27日 WHO/Media centre 2009年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・米国、メキシコにおけるインフルエンザ様疾患について: 米国政府は米国内の7人の豚インフルエンザA/H1N1確定症例(5人がカルフォルニア、2人がテキサス)と9人の疑いがある症例を報告した。死亡症例は報告されていない。メキシコ政府は3つの別々の事例を報告しており、メキシコ連邦区ではインフルエンザ様疾患が挙がり始め、4月23日までに854人以上の肺炎が発生し、うち、59人は死亡している。 ・豚インフルエンザupdate3: 豚インフルエンザA(H1N1)の発生状況は刻々と変化しており、2009年4月27日現在、米国では40症例(死亡例なし)、メキシコでは7症例の死亡を含む26症例で同ウイルスへの感染が確認された。 ・豚インフルエンザ: 国際保健規則(2005年)の元設立された緊急委員会が2009年4月27日、2回目となる会合を開催した。
431	2009/7/23	90300	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	オマリズマブ(遺伝子組換え)	ヒト化マウスモノクローナル抗体	—	有効成分	無	無	無			
432	2009/7/23	90301	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシベプトン	ウシの皮及び骨	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
433	2009/7/23	90302	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシトリプトン	ウシの乳及びブタのすい臓由来酵素	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
434	2009/7/23	90303	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシTPCK処理トリプシン	ウシのすい臓	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
435	2009/7/23	90304	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ブタカルボキシペプチターゼ	ブタのすい臓	アメリカ	製造工程	無	無	無			
436	2009/7/23	90305	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシ肉エキス	ウシの骨格筋	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
437	2009/7/23	90306	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシベプトン	ウシの骨、皮、結合組織及胆汁	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
438	2009/7/23	90307	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシベプチカーゼ	ウシ乳及びブタの酵素	①ウシ: オーストラリア及びニュージーランド②ブタ: アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
439	2009/7/23	90308	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ブタトリプシン	ブタのすい臓	デンマーク、アメリカ、イギリス、ドイツ、オランダ、ポルトガル、ベルギー、スウェーデン、アイルランド、スペイン、ハンガリー及び韓国	製造工程	無	無	無			
440	2009/7/23	90309	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	加水分解ペプトン	ブタの胃	アメリカ	製造工程	無	無	無			
441	2009/7/24	90310	デンカ生研	発疹チフスワクチン	卵黄囊	ニワトリの受精卵	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	サルモネラ	CDC/MMWR 2009; 58: 25-29	90027に同じ
442	2009/7/27	90311	ILS	パルナパリンナトリウム	パルナパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	インフルエンザ	CDC Weekly Report/flu summary update week08	2009年2月22日から28日の8週間において、米国での季節性インフルエンザ発生は概ね前の週と同じ水準であった。インフルエンザA(H1N1, H3, unsubtype)およびBについて、米国地域ごと、週ごとに比較検討した報告。
												インフルエンザ	WHO/EPR 2009年4月24日	90299に同じ
												新型インフルエンザ	WHO/EPR update6 2009年4月30日	2009年4月30日現在、11の国がインフルエンザA(H1N1)に感染した257の症例を公式に報告した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												インフルエンザ	N Engl J Med 2009; 360: 2616-25	米国での2005年から2009年における調査の報告。3種(トリ、ヒトおよびブタ)が再集合したブタインフルエンザA(H1)ウイルスのヒトへの感染についての11症例の報告。
												新型インフルエンザ	N Engl J Med 2009; 360: 2605-15	4月15日から5月5日の間、米国の41州において、総計642症例からヒトにおける新規ブタインフルエンザA(H1N1)ウイルスの感染を確認した。
443	2009/7/28	90312	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												インフルエンザ	MMWR 2009; 58: 1-3	2009/4/17米CDCはカリフォルニア南部の小児2例の熱性呼吸器疾患をブタインフルエンザA(H1N1)感染であると特定した。アマンダジン、リマンダジンに抵抗性があり、過去に報告されていない固有の遺伝子断片の組み合わせが含まれていた。ブタ接触歴は無く感染源は不明。
												新型インフルエンザ(H1N1)	FDA/CBER 2009年4月30日	90298に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIEN.1176062	新型インフルエンザA(H1N1)ウイルスは世界に急速に広まっている。パンデミックの可能性を判断するのはデータが限られているため難しいが、適切な保険対応を伝えるには必須である。メキシコでの大流行、国際的な広がりの早期情報およびウイルス遺伝的変異について分析することにより、感染力と重症度の早期評価を実施した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009年4月23~24日	平成20年8月、仙台市においてリケッチア症を疑う患者が発生した。生検材料を用いたPCRにより陽性であったが、シーケンス解析により、ロシアや中国の患者から報告されている R.heilomgiangensisに一致した。国内に、日本紅斑熱とは異なる紅斑熱ケッチア症が存在することが示された。
												ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360; 2099-2107	New Yorkの62歳の男性は、シカダニウイルスに感染したシカダニの咬傷後に髄膜脳炎で死亡した。これまでシカダニウイルスのヒト感染は報告されていないが、この症例はシカダニウイルスが致命的脳炎の原因でありえることを示している。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Protection Agency 2009/05/22	2004年にHealth Protection Agencyは扁桃腺に蓄積されたvCJD関連プリオンタンパク質の大規模な調査により、無症候性vCJD保有率を検討するNational Anonymous Tissue Archive(NATA)を開始。既に63000例の扁桃腺組織の収集・解析を行っており、100000例まで収集する計画であるが、現在のところ陽性サンプルは一つもなかった。
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMRW 2009; 58: 521-524	05~06年、06~07年、07~08年の季節性インフルエンザワクチン接種コホートの保存ベア血清を用いて、新型インフルエンザウイルスの交差反応性を検討した。18-64歳ではワクチン接種前に6~9%、60歳以上では33%が交差反応を示した。ワクチン接種後には交差反応を示した例が18-64歳で2倍程度に増え、60歳以上では全く増えなかった。
444	2009/7/28	90313	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス菌 (Clostridium botulinum)	米国	有効成分	無	無	無			
445	2009/7/28	90314	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年6月11日	2009年6月11日、WHOは現在の新型インフルエンザのAlertをフェーズ6に引き上げた。
446	2009/7/28	90315	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、脾臓)	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、脾臓)	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
447	2009/7/28	90316	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	ヒツジ(血液)	ヒツジ(血液)	米国	製造工程	無	無	無			
448	2009/7/28	90317	日本メジック・フィジックス	放射性医薬品基準ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム(99mTc)注射液	ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム(99mTc)	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	共同通信HP 2009年4月28日	WHOは新型インフルエンザのPandemic Alertをフェーズ4に引き上げた。
												新型インフルエンザ(H1N1)レンサ球菌感染	WHO 2009年4月28日 日本化学療法学会第57回総会 201	WHOは新型インフルエンザのPandemic Alertをフェーズ4に引き上げた。 50代後半の男性が右母指のウオノメをカッターで自己切除したところ黒変し、その範囲は急速に拡大。右下肢の腫脹が起り入院。右母指には悪臭と壊疽を伴う重度の蜂巣炎、X線所見で右大腿部にガス像を認めた。Streptococcus dysgalactiae subsp. dysgalactiaeによる初めてのヒト感染例と考えられる。
449	2009/7/28	90318	佐藤製薬株式会社	ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清、ウシ血清	ウシ血液	アメリカ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
450	2009/7/28	90319	佐藤製薬株式会社	ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ	アメリカ	製造工程	無	無	無			
451	2009/7/28	90320	佐藤製薬株式会社	ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組換え)	トチロトロピンアルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	不明	有効成分	無	無	無			
452	2009/7/28	90321	ゼリア新薬工業	結核菌熱水抽出物	結核菌熱水抽出物	Z-100原液	日本	有効成分	無	無	無			
453	2009/7/28	90322	ゼリア新薬工業	結核菌熱水抽出物	全卵液	全卵液	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	厚生労働省HP 2009年2月27日	2009年2月27日、愛知県豊橋市のうずら農場においてトリインフルエンザウイルス(H7N6)が検出された。
												鳥インフルエンザ	OIE/World animal health information Vol.22 No.10 2009/03/05	2009年2月27日、愛知県豊橋市のうずら農場においてトリインフルエンザウイルス(H7N6)が検出された。感染農場、周辺地域では家畜の移動制限、殺処分が実施され感染拡大防止措置が取られている。ヒトへの感染は認められていない。感染源は不明。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20090228-0826	900321に同じ
454	2009/7/29	90323	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ブタ由来酵素(センダイウイルスのポリペプトン)	ブタ臓臓	日本	製造工程	有	無	無	エボラ出血	WHO/WER 2009; 84: 49-56	90001に同じ
												インフルエンザ	Eurosurveillance 2009; 14: 1-2	90001に同じ
455	2009/7/29	90324	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ヒトリンパ芽球細胞株	日本	有効成分	無	無	無			
456	2009/7/29	90325	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
457	2009/7/29	90326	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ウシ乳由来カゼイン(センダイウイルスのポリペプトン)	ウシ乳	中国、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
458	2009/7/29	90327	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ふ化鶏卵(センダイウイルスを増殖)	鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
459	2009/7/29	90328	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	抗IFN- α モノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無			
460	2009/7/29	90329	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
461	2009/7/29	90330	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ハムスター(ヒトリンパ芽球細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
462	2009/7/29	90331	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	パリビズマブ(遺伝子組換え)	-	ドイツ	有効成分	無	無	無			
463	2009/7/29	90332	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	マウスミエローマ細胞	マウス培養細胞株	米国	製造工程	無	無	無			
464	2009/7/29	90333	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
465	2009/7/29	90334	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	ビボプロテイン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
466	2009/7/29	90335	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
467	2009/7/29	90336	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	濃縮リビッド	羊毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
468	2009/7/29	90337	日本製薬	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子複合体	血液凝固第Ⅷ因子複合体	人血液	日本	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009 February 17, 2009	90183に同じ
												B型肝炎	Transfusion Med. 2008; 18: 379-381	90151に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CBER 2009年4月30日	90298に同じ
469	2009/7/29	90338	アボット・ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	アダリムマブ(遺伝子組換え)	-	アメリカ、プエルトリコ	有効成分	無	無	無			
470	2009/7/29	90339	アボット・ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	培養細胞株	アメリカ	製造工程	無	無	無			
471	2009/7/29	90340	アボット・ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	Primatone RL (ウシ脾臓及び血液の酵素消化物)	ウシ脾臓及び血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
472	2009/7/29	90341	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプトシン	ウマの脾臓、脛、ウシの心臓、脾臓及びブタのラードウォーターをブタのパンクレアチン及びペプシンで処理したもの	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年4月29日	WHOは新型インフルエンザのPandemic Alertをフェーズ5に引き上げた。
473	2009/7/29	90342	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	パンクレアチン	ブタの膵臓由来	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年4月29日	90341に同じ
474	2009/7/29	90343	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタの胃液	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年4月29日	90341に同じ
475	2009/7/29	90344	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ラードウォーター	ブタ	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年4月29日	90341に同じ
476	2009/7/30	90345	メルクセローノ株式会社	セツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20090510.1747	2007年後半におよそ70年ぶりにオーストラリアのHunter Valleyにおいてウシの炭疽のアウトブレイクが発生した。オーストラリアにおいて、洪水により長期間埋もれていた炭疽菌芽胞が姿を現し、農村部で炭疽が再興していると、New South Walesの研究者らが報告した。
477	2009/7/30	90346	メルクセローノ株式会社	セツキシマブ(遺伝子組換え)	マウスハイブリドーマ細胞	マウスハイブリドーマ細胞株	米国	製造工程	無	無	無			
478	2009/7/30	90347	メルクセローノ株式会社	セツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
479	2009/7/30	90348	メルクセローノ株式会社	セツキシマブ(遺伝子組換え)	リポたん白質	ウシ血液	米国	製造工程	有	無	無	結核	ProMED-mail20090215.0644	90234に同じ
												結核	ProMED-mail20081207.0101	90234に同じ
												結核	ProMED-mail20081208.3856	90232に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												結核	ProMED-mail20090423.1536	米国テキサス州西部において乳牛がウシ結核に感染していることが明らかになった。
												狂犬病	ProMED-mail20090215.0644	90232に同じ
												狂犬病	ProMED-mail20090220.0724	90232に同じ
												狂犬病	ProMED-mail20090410.1383	90232に同じ
												狂犬病	ProMED-mail20090418.1470	90232に同じ
												炭疽	ProMED-mail20090510.1747	90345に同じ
480	2009/7/30	90349	ヤンセンファーマ	ムロモナブ-CD3	ムロモナブ-CD3	マウス腹水	不明	有効成分	無	無	無			
481	2009/7/30	90350	ヤンセンファーマ	ムロモナブ-CD3	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ合衆国またはカナダ	製造工程	無	無	無			
482	2009/7/30	90351	ヤンセンファーマ	ムロモナブ-CD3	ウマ血清	ウマ血液	不明	製造工程	無	無	無			
483	2009/7/30	90352	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞株	該当なし	有効成分	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
484	2009/7/30	90353	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	アプロチニン	ウシ肺	ニュージーランド	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
485	2009/7/30	90354	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	インスリン(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用)	ウシ臓臓	米国	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
486	2009/7/30	90355	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
487	2009/7/30	90356	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用)	ウシ血液	オーストラリア	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
488	2009/7/30	90357	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用-1)	ウシ血液	米国	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
489	2009/7/30	90358	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用-2)	ウシ肝臓	米国又はカナダ	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
490	2009/7/30	90359	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
491	2009/7/30	90360	バクスター	加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
492	2009/7/31	90361	アステラス製薬	パミテブラーゼ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20090110.0100	ケニアのManyata地区のNjukiiri村で炭疽感染牛の処分を行っていた28歳の男性が炭疽菌感染症状を呈し2009年1月6日にEmbu Provincial病院へ向かう途中で死亡した。
												炭疽	ProMED-mail20090116.0187	ジンバブエにて2008年11月以降に炭疽により死亡したウシやヤギの肉を食したことにより200人が炭疽に感染し8人が死亡した。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090202.0463	オランダにて2009年1月初旬に、4年間で3例目となるvCJDによる死亡例が報告された。この患者の感染経路は報告されていない。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090307.0953	2009年1月、スペインSantander北部の都市にて、同国で5番目となるvCJDによる死亡例が確認された。
												炭疽	ProMED-mail20090511.1763	南インドのAndhra Pradesh州Visakhapatnamにおいて、過去2カ月間に17例が炭疽により死亡した。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090406.1337	スペインで2009年3月28日、vCJDの研究を専門としている病理医の男性がvCJDの疑いで死亡した。感染経路は不明であるが、業務中に感染したヒト組織の暴露を受けたかどうかについて調査している。
493	2009/7/31	90362	アステラス製薬	パミテプラゼ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20090110.0100	90361に同じ
												炭疽	ProMED-mail20090116.0187	90361に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090202.0463	90361に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090307.0953	90361に同じ
												炭疽	ProMED-mail20090511.1763	90361に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090406.1337	90361に同じ
494	2009/7/31	90363	アステラス製薬	パミテプラゼ(遺伝子組換え)	CHO細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	- (東京大学医学研究所から入手した細胞株)	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
495	2009/7/31	90364	フェリンゲ・ファーマ株式会社	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	閉経後婦人尿	アルゼンチン	有効成分	無	有	無			
496	2009/8/6	90365	富士フィルムRIファーマ	ヨウ化血清アルブミン(131I)	ヨウ化人血清アルブミン(131I)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2009; 58: 4-7	90188に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												黄熱	ProMED-mail20090402.1217	90188に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90294に同じ
497	2009/8/6	90366	あすか製薬	日局ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国・ブラジル	有効成分	無	無	無			
498	2009/8/11	90367	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
499	2009/8/11	90368	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	溶連菌抽出物注射用	-	有効成分	無	無	無			
500	2009/8/11	90369	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			
501	2009/8/11	90370	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	牛肉	ウシ骨格筋	オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
502	2009/8/11	90371	中外製薬	ストレプトコックス・ビオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	Bacto Todd Hewitt Broth	ウシ心臓、骨格筋、骨髄、脂肪組織、結合組織、乳、ブタ心臓、膵臓、胃	ウシ心臓(米国)、骨格筋(米国、オーストラリア)、脂肪組織(米国)、骨髄(米国)、結合組織(米国)	製造工程	無	無	無			
503	2009/8/11	90372	中外製薬	エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
504	2009/8/11	90373	中外製薬	エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	ブタ膵臓	米国、カナダ、デンマーク、英国、ドイツ、オランダ、ポルトガル、ベルギー、フランス、アイルランド、スペインハンガリー、韓国	製造工程	無	無	無			
505	2009/8/12	90374	大日本住友製薬	酢酸ソマトレリン	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無	無	無			
506	2009/8/12	90375	興和	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	無	無	無			
507	2009/8/14	90376	アボット・ジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO/EPR 2009年3月31日	90056に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90312に同じ
508	2009/8/14	90377	日本生物製剤	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2009; 58: 4-7	90188に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												レンサ球菌感染	CDC/MMWR 2009; 58: 109-112	米国におけるActive Bacterial Core Surveillanceの2006年のデータより、新生児のB群連鎖球菌疾患に関する分析結果。2000～2006年の間に早発性疾患は1199例、遅発性疾患は1005例に発症し、2006年では、早発性疾患179例、遅発性疾患137例の発症が報告された。
												B型肝炎C型肝炎	日本輸血細胞治療学会誌 2009; 55: Y-1-2	2004～2007年の4年間に確認された輸血ウイルス感染症は、HBV50例、HCV3例、HEV4例、ヒトパルボウイルスB19が4例である。輸血細菌感染症はRC-MAPIによるY. enterocolitica感染2例、PCによるS. aureus感染1例であった。
												ウイルス感染	日本輸血細胞治療学会誌 2009; 55: Y-1-3	1985年にBSE、1997年に高病原性トリインフルエンザ(H5N1)、1999年にウエストナイルウイルス、2003年にはSARSが発生。2006年にはチングニヤウイルスの発生。2007年には、未知の新ウイルス(新規のアレナウイルス)等の存在が明らかとなり、血液を介した感染リスクが存在するか検討されている。
												C型肝炎	日本輸血細胞治療学会誌 2009; 55: O-054	本邦で20ブールNAT導入後、NAT陰性献血血液由来の血液製剤からHCV感染が初めて報告された。
												細菌感染	CDC/MMWR 2009; 58: 362-365	Chlamydia trachomatis感染症は米国で最も発症頻度の高いSTDであり、年間280万人が罹患している。2007年には110万人のクラミジア感染症例がCDCに報告され、その半数以上は15～25歳の女性であった。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Protection Agency 2009/05/22	90312に同じ
509	2009/8/17	90378	日本ビーシージー製造	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2009; 15: 272-279	2007年のドイツで発生したH5N1ウイルスの家畜農場でのアウトブレイクの起原と、食物連鎖へH5N1ウイルスが侵入した疑いを調査するために、系統学的分析と疫学的分析を実施した。その結果、市販の冷凍貯蔵されたアヒルの肉が原因である可能性が示唆された。アヒルが高病原性H5N1ウイルスに感染しても臨床的に無症候であることが示された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	Arch Virol 2009; 154: 677-681	ブタから分離されたH5N1インフルエンザウイルスの病原性を検討した。ブタ由来H5N1ウイルスは鶏卵胚およびMDCK細胞でよく増殖することが確認された。また、マウスに対する病原性では、ニワトリ由来のH5N1ウイルスに比べて病原性が低い或いは弱毒であることが示された。
510	2009/8/17	90379	日本ビーシージー製造	精製ツベルクリン	乳糖	ウシの乳	オランダ、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ	添加物	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	農林水産技術会議事務局研究成果 2009; 468: 77-81	ウシ及びマウスの消化管上皮細胞株を樹立し、濾胞随伴上皮に存在するM細胞のin vitro分化誘導系を開発するなど、経口摂取した異常プリオン蛋白の生体への初期侵入機構の解明を目的とした研究の報告。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	農林水産技術会議事務局研究成果 2009; 468: 81-82	ウシ及びヒツジの回腸と十二指腸に、逆行性のトレーサーを注入して、回腸遠位部から延髄に伸びる交感・副交感神経経路におけるプリオン移行の解析を行い、また、ウシ回腸遠位部での物質の取り込みや神経網について行った研究の報告。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	農林水産技術会議事務局研究成果 2009; 468: 99-103	国内初発のBSEをマウスへ伝達・継代した結果、英国のBSEを伝達した結果と同様の結果が得られ、ウシでの解析結果と一致して、日本初発のBSEが英国のプリオン株と同じである可能性が示唆されたという報告。また、BSE、羊スクレイピーをマウスへ初代伝達した際の病変形成・発症について病理学的に検討を行った研究の報告。
511	2009/8/21	90380	日本製薬	加熱人血漿たん白 人血清アルブミン(5%) 人血清アルブミン(20%) 人血清アルブミン(25%) 乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン トロンビン 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 人免疫グロブリン 乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	製造工程 添加物 製造工程	無	有	無			
512	2009/8/21	90381	エール薬品株式会社	ダルテパリンナトリウム	血液凝固阻止剤	豚小腸	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												エボラ出血	ProMED-mail20090203.0482	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
												エボラ出血	ProMED-mail20090130.0417	フィリピンにおいて1月30日に、新たに4例がEbola-Restonウイルスに感染していたことが判明した。
												エボラ出血	ProMED-mail20090131.0437	90381に同じ
												インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 115-119	米国におけるインフルエンザの活動性に関する報告。2008年12月にサウスダコタにおいてブタインフルエンザA(H1N1)に感染した症例1例(19歳)に関する報告。
												エボラ出血	WHO/WER 2009; 84: 49-56	90001に同じ
												エボラ出血	IDWR 2009 第5週	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
												インフルエンザ	ProMED-mail20090220.0715	スペインにおいて2008年11月、養豚場で働く50歳女性がインフルエンザ様症状を呈した。2009年1月13日国立インフルエンザ研究所より、ブタ由来のインフルエンザA(H1N1)の可能性があると報告された。
												インフルエンザ	CDC Weekly Report/flu summary update 2009 Mar 6	902351に同じ
												インフルエンザ	CCDR Fluwatch 2008-2009 week09	カナダにおける季節性インフルエンザ流行状況報告。米国で、ブタインフルエンザA(H1N1)のヒトへの感染例が1例報告されたことも述べられている。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年3月31日	900561に同じ
												インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 369-374	902821に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58: 1-3	2009/4/17米CDCはカリフォルニア南部の小児2例の熱性呼吸器疾患をブタインフルエンザA(H1N1)感染であると特定した。アマンダジン、リマンダジンに抵抗性があり、過去に報告されていない固有の遺伝子断片の組み合わせが含まれていた。ブタ接触歴は無く感染源は不明。
												新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58: 1-3 (dispatch)	ブタインフルエンザA(H1N1)ウイルスに感染した追加の6症例について。カリフォルニアのサンディエゴで3例、インベリアルで1例、テキサスのグアダルペで2例報告された。これらの患者から分離されたウイルスはメキシコの患者から分離されたウイルスと同じであった。
												新型インフルエンザ(H1N1)	厚生労働省 健康局結核 感染症課事 務連絡2009 年4月26日	メキシコ及び米国におけるブタインフルエンザ事例に対する対応について
												エボラ出血	IDWR 2009 第14週	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認された。2月16日にさらに1例の抗体陽性者が確認された。2008年12月以降141例が抗体検査を受け、6例が陽性となった。6例全員が職業的にブタとの接触があり、感染源と考えられている。また6例全員が健康である。
												新型インフルエンザ(H1N1)	Health Canada news release 2009/04/26	カナダ政府はカナダにおけるブタインフルエンザA(H1N1)のヒト感染を確認した。Nova Scotiaで4例、British Columbiaで2例であり、米国及びメキシコのブタインフルエンザA(H1N1)と同一株であった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												新型インフルエンザ(H1N1)	IDWR 2009第16週	2009年4月29日現在、9カ国が合計148例のブタインフルエンザA/H1N1感染を公式に報告している。米国では91例の確定症例を報告しており、1名の死亡者がいる。メキシコは7例の死亡例を含む26例の確定症例を報告している。他、オーストリア(1例)、カナダ(13例)、ドイツ(3例)、イスラエル(2例)、ニュージーランド(3例)、スペイン(4例)、英国(5例)である。
												ブルセラ症	CDC/MMWR 2009; 58: 618-621	2008年5月及び7月に米国South Carolina及びPennsylvaniaからブタの狩猟に関連するブルセラ症症例が2例報告され、その後の調査で2例はB. Suisへの感染によるブルセラ症であること、また、うち1例の兄弟もブルセラ症の可能性があるとされた。上記2例は暴露後4~6か月症状がなかった。
												ブルセラ症	ProMED-mail20090701.2380	ロシアのZameletenovka州、LyubinskiyとSherbakulskiyの2地方で、ヒツジ、ウシ、ブタにおけるブルセラ症が発見され、それらの動物と接触した可能性のある300例が検査をうけ、39例がブルセラ症と診断された。
												新型インフルエンザ(H1N1)	ProMED-mail20090723.2603	カナダCFIAの検査員2名が、2009年4月下旬にAlbertaのブタにおけるインフルエンザアウトブレイクについて調査中にブタインフルエンザA/H1N1に感染したことが発覚した。カナダにおける最初の新型インフルエンザ感染例である。
513	2009/8/21	90382	第一三共株式会社	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	フィブリノリジン	牛の血清	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
514	2009/8/21	90383	第一三共株式会社	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	デオキシリボヌクレアーゼ	牛の臓腑	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
515	2009/8/21	90384	旭化成ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	結核	Northland Northern Advocate 2009/07/09	ニュージーランドにおいて、ウシ結核菌に感染したウシ(1頭)が発見され、感染拡大防止のため、感染牛は屠殺処分され、当該牧場の家畜に移動制限が行われた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
516	2009/8/21	90385	旭化成ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	ヒト成人肺組織及びヒトさい帯内皮細胞由来cDNAを組み込んだチャイニーズハムスター卵単細胞	米国	有効成分	無	無	無			
517	2009/8/21	90386	旭化成ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	抗トロンボモデュリンアルファマウスモノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ細胞をハウス腹腔内に接種して得られた腹水	米国	製造工程	無	無	無			
518	2009/8/24	90387	ノボノルディスクファーマ	エプタゴク アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ブタ膵臓由来トリプシン	ブタ膵臓(抽出物)	不明	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58: 1-3	90381に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CIDRAP News 2009/04/24	2009年4月24日、CDCはメキシコでの致死的な呼吸器疾患発症例から分離されたウイルスは米国の患者のブタインフルエンザA/H1N1株と一致したと発表した。米国での感染例は現在8例である。メキシコ政府の公式発表では、メキシコシティにおいて854例以上の肺炎患者が発生し、そのうち59例が死亡している。
519	2009/8/24	90388	ノボノルディスクファーマ	エプタゴク アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタゴクアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタゴクアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	不明	有効成分	無	有	無			
520	2009/8/24	90389	ノボノルディスクファーマ	エプタゴク アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、米国及びカナダ	製造工程	無	有	無			
521	2009/8/24	90390	ノボノルディスクファーマ	エプタゴク アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ新生仔血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	有	無			
522	2009/8/24	90391	CSL ベーリング	人血清アルブミン 破傷風抗毒素 フィブリノゲン加第XIII因子 乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	無	有	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
523	2009/8/24	90392	CSL ベーリン グ	人CI-インアクチベーター	人CI-イン クチベーター	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	有効成分	有	無	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												インフルエンザ	FDA/CBER 2009年5月7 日	90298に同じ
												クロイツフェル ト・ヤコブ病	Transfusion; 49(5); 977- 984	90298に同じ
524	2009/8/25	90393	味の素	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカル シウム	健康なブタ の腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	90299に同じ
												エボラ出血	WHO (2009 年2月3日)	90019に同じ
												新型インフルエ ンザ	WHO/EPR 2009年4月24 日, 2009年4 月27日 WHO/Media centre 2009 年4月27日	90299に同じ
525	2009/8/26	90394	シェリン グ・ブラ ウ	インターフェロナルファ-2b(遺 伝子組換え)	人血清アル ブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	ウエストナイル ウイルス	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1747-1749	米国カリフォルニア州カーン郡ベーカーズ フィールドにおける2007年夏のWNV確定症例 は140例で、2004-2006年に比べて205-280% の増加が認められた。この増加には、住宅ロー ン滞納により放置された住宅のプールが関係 している。
												デング熱	International Herald Tribune 2009/01/11	ブラジル当局は、リオデジャネイロにおける 2008年のデング熱による死亡例は106例で、 2007年の27例比べて4倍であり、デング熱に罹 患者数についても2007年の2.5万人に比べ、 2008年は12.7万人であると述べている。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
													Eurosurveillance 2009; 14: 19091	チエコ共和国PHPAIによると、2008年にA型肝炎確定症例が1616例報告されたが、これは2003～2007年までの年間平均報告数153例(70～322例)と比べて10.6倍であった。この感染拡大は、初期には薬物静注濫用者と関係しており、約1/4の症例はヒト-ヒト感染によるものと考えられたが、年の後半では恐らく長期間に亘るA型肝炎罹患率の低下で感受性の増大した一般住民において拡大したと考えられた。
												ウイルス感染	ProMED-mail20090402.1272	90188に同じ
526	2009/8/26	90395	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												ウイルス感染	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90312に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009年5月16日	900295に同じ
527	2009/8/26	90396	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	初代腎臓培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
528	2009/8/26	90397	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ラクトアルブミン	ウシ乳	オーストラリア、米国、ニュージーランド、カナダ	製造工程	無	無	無			
529	2009/8/26	90398	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	血清	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
530	2009/8/26	90399	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	筋アデニル酸	ウマ肉	米国	製造工程 添加物・ 製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
531	2009/8/26	90400	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	エリスロマイシンラクチビオン酸塩	ウシ乳	米国、カナダ、オランダ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
532	2009/8/26	90401	シェリング・プラウ	ダナバロイドナトリウム	ダナバロイドナトリウム	ブタ小腸粘膜抽出物	ベルギー、ドイツ、フランス、スペイン、オーストリア、オランダ	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO Disease Outbreak News 2009年3月31日	90296に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CDC 2009/06/26 Novel H1N1 Flu Situation Update	2009年6月25日までに米国で確認された新型インフルエンザA/H1N1感染確定例及び可能性例は27,717例であり、死亡例は127例である。
533	2009/8/26	90402	シェリング・プラウ	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(日局)	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(日局)	妊婦尿	ブラジル	有効成分	有	無	無	デング熱	International Herald Tribune 2009/01/11	90394に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090402.1272	90188に同じ
												デング熱	ProMED-mail20090608.2121	2009年の1月から5月22日までの、ブラジルバイア州における古典的デング熱症例数は82402例に達し、2008年同時期(28432例)と比べて220%増加している。確定死亡例は55例であった。
												デング熱	ProMED-mail20090622.2286	ブラジルのエスピリト・サント州保健当局は、2009年は6月1日までにデング熱症例数が43536例を記録したと発表した。1日当たり約288例が報告されていることになる。
												新型インフルエンザ(H1N1)	WHO Disease Outbreak News 2009年6月24日	2009年4月24日以降、米国及び他の国々における新型インフルエンザA/H1N1感染症例は増加し続け、6月24日現在WHOに報告された確定症例数は累計55867例(死亡238例)である。米国は21449例(死亡87例)、メキシコは7847例(死亡115例)、ブラジルは334例(死亡0例)。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
534	2009/8/26	90403	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	人尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												インフルエンザ	MMWR 2009; 58: 1-3	90312に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	FDA/CBER 2009年4月30日	90312に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	90312に同じ
												リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009年4月23~24日	90312に同じ
												ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360: 2099-2107	90312に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Protection Agency 2009/05/22	90312に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMRW 2009; 58: 521-524	90312に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90294に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009/06/05	血友病患者の脾臓中に異常プリオン蛋白質が発見されたことを受け、CJD事故委員会の要請により「vCJD Risk Assessment Calculations for a Patient with Multiple Routes of Exposure」報告書がDepartment of Healthによって作成された。感染可能性のある種々の経路を設定し、それぞれの相対的な感染確率を検討した報告である。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA TSE advisory committee 2009/06/16	英国でvCJDに関連した凝固因子製剤を11年前に投与された血友病患者のvCJD感染の報告を受けて、米国におけるリスク管理戦略を再評価した。その結果は、米国で承認されている第Ⅷ因子製剤からのvCJD感染のリスクは極めて低いと考えられるが断言はできない、という従来と同様の評価である。
												アメリカ・トリパノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	Trypanosoma cruzi抗体検出用のELISA検査システムがCBERIにより許可されたことをうけ、米国において、全血、血液成分及びHCT/Psにおけるトリパノソーマ症伝播のリスク低減のためのドナースクリーニングについて、FDAよりドラフトガイダンスが公表された。最終版発表後1年以内にこのガイダンスに適合することが推奨されることとなる。
535	2009/8/27	90404	バイエル薬品	アプロチニン製剤	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J. Hosp. Infect. 2009; 72: 65-70	90145に同じ
536	2009/8/27	90405	日本ケミカルリサーチ	注射用ミリモスチム	ミリモスチム	ヒト尿	中国、台湾	有効成分	有	無	無	コレラ	J Med Microbiol 2009; 58: 234-238	2007年8~9月に、インド東部のオリッサでコレラが大流行した。流行地域で収集された糞便検体からEl Tor型の01コレラ菌が単離され、コレラ毒素Bサブユニットの遺伝子(ctxB)解析の結果、致死性の高いclassical型のコレラ菌のctxBと同一のアミノ酸配列になっていることが確認された。
												レンサ球菌感染	日本感染症学会総会学術集会 第83回 0-173	90291に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
537	2009/8/27	90406	日本ケミカルリサーチ	注射用ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	有	無	無	インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 1-3	90381に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 58 (dispatch) 2009/4/30	2009年3月から4月上旬にかけてメキシコで呼吸器疾患のアウトブレイクが発生した。3月1日から4月30日までに合計1918例の重症呼吸器疾患症例が報告され、うち286例がインフルエンザA陽性、97例がRT-PCRにより新型インフルエンザA/H1N1と確定された。死亡例は合計84例が報告された。このインフルエンザウイルスはカリフォルニアの小児患者2例から同定されたウイルスと同一の株であることが判明した。
												新型インフルエンザ(H1N1)	IBTimes 2009/05/09	新型インフルエンザA/H1N1感染例が国内で初めて確認された。米デトロイト発成田行き飛行機に搭乗しており、帰国時に発熱等を呈していたため簡易検査を行い、A型インフルエンザ陽性反応が出たためRT-PCR検査を実施し、新型インフルエンザA/H1N1陽性が確認された。
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90294に同じ
538	2009/8/27	90407	川崎製薬	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
539	2009/8/28	90408	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝仕組換え)	ルリオクトコグ アルファ(遺伝仕組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞株	-	有効成分	無	無	無			